電気機械設備工事
共通仕様書

〔２０１０年度　改訂版〕

〔付属書編〕

大 阪 府 水 道 部

― 目　次 ―

目　次

《委託関係提出書類》

付属書１　工事写真撮影等の基準

１．目　　的

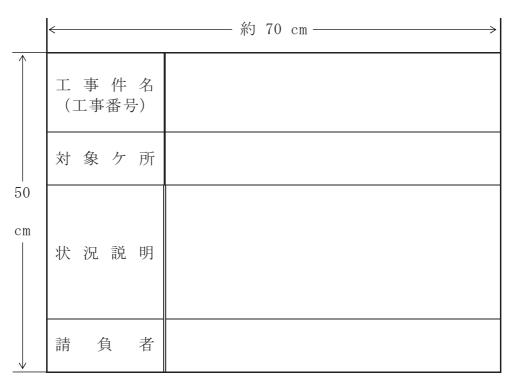
工事施工の確認を現場写真によって行っているが、整理方法や要点に欠けている写真が見受けられるので、これを統一し基準を定めることにより効果的な工事写真を作成できるようにするものである。

２．撮影上の留意点

(a) 工事写真は、工事の出来高、施工状況、形状、寸法を確認するために写すものであるから、写す位置方向、写角を十分検討のうえ、被写体に箱尺、広幅テープを当てる等、形状、寸法、数量を確認できるよう留意すること。

(b) 工事完成後いんぺいする部分に対しては特に上記事項に留意すること。

(c) 　写真を写す場合は、下記の項目を黒板（５０cm×７０cm 程度）に記入して写し込むこと。

（参考例１）

(d) 工事施工前、中、後の写真は同一方向、同一角度にて撮影すること。
(e) 着手前写真は完成時を意識して撮影すること。
(f) 材料検収写真は、原則として本府係員又は本府が指名した人の入った写真とする。
　また、工事材料はシート上等に置き、員数もはっきり判別できるよう配慮すること。
(g) 工場にて施工する部分については施工工程ごとに撮影し、製作個数が複数の場合は、本府が指定する代表例ごとに撮影し、出荷梱包前に全品撮影する。
　また、塗装については、色を替えて塗装し、撮影すること。
(h) 品質管理写真は、工場において、材料の引張り、切断等各種試験時の数値、テストピースが本工事のものと判別しやすいよう、工事黒板等を入れて撮影すること。
(i) 埋設部、実管埋め込み、箱抜き等の写真は、原則として本府係員立会いのもとに位置等を黒板に表示して撮影を行うこと。
(j) 現地にて、配管の水圧テスト等を行った時は圧力計が判読できるか、本府係員立会いのもと（黒板に圧力記入のこと）にて撮影すること。
(k) 写真及びベタ焼きは原則としてカラーとする。

３．写真の整理方法
(a) 写真の大きさは、サービスサイズとするが全景を要する場合は張り合わせ数枚で合成すること。
(b) 写真及びネガ等の編集は工事用写真帳（Ａ４サイズ程度）を使用するものとする。
(c) アルバムの表紙及び背表紙には、工事名、工事番号を必ず明記すること。
(d) 写真の添付要領は、配水管工事にあっては、測点ごとに、その他工事は工事ごとに順次整理すること。
(e) 全景等全体がわかる写真は、最初に工事着工前と位置、方向、写角を同じくする完成後の写真を対照にして、必要ケ所数を添付し整理すること。
(f) 危険防止等の安全管理写真は最後に一括して整理すること。
(g) アルバムの整理は次のように編集すること。

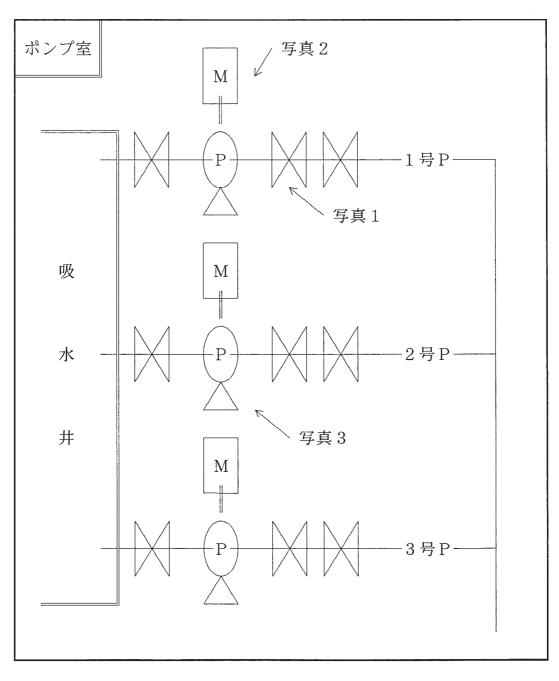
（参考例２）

＊　全体概略図

平面図
断面図または斜視図等
……………etc

写真１）　名　称

写真２）　名　称

＊全体概略図

付属書２　　工事関係提出書類一覧

様式No.	様式名	作成者	あて名	提出部数		提出期日等
				正	副	
1	工程表	請負者	契約者の甲	1	2	契約後 14 日以内
2	主任技術者（監理技術者）現場代理人の予定者名簿	請負者	契約者の甲	1	2	契約後遅滞なく
3	現場代理人等通知書	請負者	契約者の甲	1	2	契約後遅滞なく
4	現場代理人等変更通知書	請負者	契約者の甲	1	2	変更の時
5	下請指導責任者届	請負者	契約者の甲	1	2	下請負契約後遅滞なく
6	工事元請下請関係者一覧	請負者	契約者の甲	1	2	下請負契約後遅滞なく
7	現場代理人等経歴書	本人	契約者の甲	1	2	契約後遅滞なく
8	着工届	請負者	契約者の甲	1	2	着工の日
9	下請負（委任）通知書	請負者	契約者の甲	1	2	下請負契約をしたとき
１０	工事外注計画書	請負者	契約者の甲	1	2	契約後遅滞なく
(11)	建設工事保険証書・火災保険証書	請負者	契約者の甲	1	2	提出を求めた場合
１２	建退共掛金収納書届	請負者	契約者の甲	1	2	起業者要を所定用紙に貼付
１３	理由書 下請業者一覧表 労務計画表	請負者	契約者の甲	1	2	別途退職金制度の適用により、建退共掛金収納書届が提出できない場合、契約後遅滞なく下請業者一覧表及び労務計画表を添付のうえ提出
	労務実績報告書	現場代理人	監督職員	1	2	その都度
１４	申立書	請負者	契約者の甲	1	2	1 ヶ月間内に、建退共掛金出納書届が提出できない時
１５	労災保険成立証明書（願）	請負者	契約者の甲	1	2	（願）は労基局の控
１６	前払金請求書	請負者	契約者の甲	1	2	様式－２０
(17)	前払金保証証書	請負者	契約者の甲	1	1	西日本建設業保証㈱で

様式No.	様式名	作成者	あて名	提出部数		提出期日等
				正	副	
１８	工期延長請求書	請負者	契約者の甲	1	2	延期を必要とするとき
１９	完成通知書	請負者	契約者の甲	1	2	工事完了の日
２０	請求書	請負者	契約者の甲	1	2	請求しようとする日
２１	既済部分検査請求書	請負者	契約者の甲	1	2	部分払いを受けようとするとき
２２	指定部分完成通知書	請負者	契約者の甲	1	2	指定部分完成の日
２３	指定部分引渡書	請負者	契約者の甲	1	2	指定部分引渡のとき
２４	引渡書	請負者	契約者の甲	1	2	引渡のとき
２５	支給品受領書	請負者	出納員	3		支給品引渡の日から７日以内
２６	支給品戻入書	現場代理人	出納員	4		完了のとき（使用時又は年度末日）
２７	損害発生通知書	請負者	契約者の甲	1		損害発生後速やかに
２８	事故発生報告書	現場代理人	監督職員	1		事故発生後速やかに
２９	施工計画書	現場代理人	監督職員	1		契約後15日以内、変更発生時は追加変更
３０	実施工程表	現場代理人	監督職員	1		工事着手前
３１	工事月報	現場代理人	監督職員	1		上半期分　20日まで 下半期分　５日まで
３２	現場発生品調書	現場代理人	監督職員	1		発生品引渡のとき
３３	材料確認書	現場代理人	監督職員	1		確認を受けようとするとき
３４	中間検査請求書	請負者	契約者の甲	1	2	その都度
３５	中間（工場）検査請求書	請負者	契約者の甲	1	2	その都度
３６	段階確認書	現場代理人	監督職員	1		事前に
３７	工事打合簿	現場代理人	監督職員	1		打合せの都度
３８	立会請求書	現場代理人	監督職員	1		事前に

付属書２

様式No.	様　式　名	作　成　者	あ　て　名	提出部数		提　出　期　日　等
				正	副	
３９	施工体制台帳（標準例）	現場代理人	監督職員	1		下請け契約後速やかに
４０	承諾書	現場代理人	監督職員	1	1	その都度（追加部数は指示による）
４１	工事写真帳	現場代理人	監督職員	1		その都度 付属書－１参照
(42)	試験成績書	現場代理人	監督職員	1		納品時・その都度
４３	決定図書	現場代理人	監督職員	1		その都度（追加部数は指示による）
４４	行政財産使用許可申請書	請負者	契約者の甲	1		事前に
４５	工事用電力（用水）使用許可申請書	請負者	契約者の甲	1		事前に
(46)	検便結果（証明書）	現場代理人	監督職員	1		作業従事前及び６カ月毎
４７	時間外・休日作業許可申請書	現場代理人	監督職員	1		２日前まで
４８	材料等搬出確認願及び記録	現場代理人	監督職員	1		その都度
(49)	酸素濃度測定記録	現場代理人	監督職員	1		その都度
５０	塗装膜厚測定記録	現場代理人	監督職員	1		その都度
(51)	納品伝票及び整理表	現場代理人	監督職員	1		工事完了時
(52)	付属品リスト	現場代理人	監督職員	1		工事完了時
(53)	完成図書	現場代理人	監督職員	ＣＤ２ 製本２		工事完了時 付属書－３参照
５４	社内検査記録届	現場代理人	監督職員	1		社内検査をしたとき
５５	かし修補誓約書	請負者	契約書の甲	1		かし修補請求があったとき
５６	かし修補完了届	請負者	契約書の甲	1		かし修補が完了したとき

※（　）は、指定する様式はありません

委託関係提出書類一覧

様式No.	様式名	作成者	あて名	提出部数		設計等	その他	提出期日等
				正	副			
101	着手届	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	着工の日
102	管理技術者通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	契約後遅滞なく
103	管理技術者経歴書	本人	契約者の甲	1	2	○	○	契約後遅滞なく
104	管理技術者変更通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	変更の時
105	照査技術者通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	契約後遅滞なく
106	照査技術者経歴書	本人	契約者の甲	1	2	○	○	契約後遅滞なく
107	照査技術者変更通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	変更の時
108	委任（下請負）通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	下請負を契約しようとする時
109	委任（下請負）承諾申請書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	下請負の通知を求められた時
110	業務実施計画表（工程表）	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	契約後14日以内
111	労災保険成立証明書（願）	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	契約後14日以内
112	履行期間延期請求書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	延期を必要とする日
113	完了通知書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	履行完了の日

付属書２

様式No.	様式名	作成者	あて名	提出部数 正	提出部数 副	設計等	その他	提出期日等
114	成果品引渡書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	引渡のとき
115	請求書	受注者	契約者の甲	1	2	○	○	請求しようとする日
116	業務計画書	管理技術者	監督職員	1	1	○	○	契約後 15 日まで
117	業務月報	管理技術者	監督職員	1	1	○	○	上半期分　20 日まで 下半期分　翌月 5 日まで
118	業務委託打合せ簿	管理技術者・監督職員相互		1		○	○	その都度
119	承諾書	管理技術者	監督職員	1	2	○	○	その都度
120	支給品受領書	管理技術者	出納員	1			○	受領した時
121	支給品戻入書	管理技術者	出納員	1			○	

付属書３

電子化完成図書作成の手引き

大阪府水道部　電子化完成図書について

１．　目的

本文書は、大阪府水道部に完成図書を納品する業者が電子化完成図書を作成し納品するまでの運用と、電子化完成図書のフォーマットについて記述したものである。

２．　運用

ここでは、業者が電子化完成図書を作成して大阪府水道部に納品するまでの運用、及び提出物について記載する。

2.1.　電子化完成図書作成の運用

業者が電子化完成図書を大阪府水道部に納品するまでの運用手順を説明する。

詳細は、「電気機械設備工事共通仕様書 付属書３ 電子化完成図書作成フロー」を参照すること。

2.1.1.　新規に電子化完成図書を作成する場合

新規に電子化完成図書を作成する場合、以下の手順で電子化完成図書を作成し納品する。

①　電子化完成図書を作成する（詳細については、３を参照）

②　完成図書CD作成支援ツールを用いて、電子化完成図書が正しく作成されていることのチェック、及び電子化完成図書のデータ変換を行う。尚、データ変換して作成された電子化完成図書には、図面をWWWブラウザで参照可能とするHTMLファイルが付加されている。

③　②でデータ変換して作成された電子化完成図書をCD－Rに焼く

④　大阪府水道部に電子化完成図書CDを提出する

2.1.2.　完成図書図面の差し替えを行う場合

既に大阪府水道部に納品している電子化完成図書について、完成図書図面の差し替えが発生した場合、以下の手順で電子化完成図書を作成し納品する。

①　大阪府水道部より電子化完成図書CDを受け取る

②　受け取った電子化完成図書CDをベースに図面の差し替えを行い、電子化完成図書を作成する

③　完成図書CD作成支援ツールを用いて、電子化完成図書が正しく作成されていることのチェック、及び電子化完成図書のデータ変換を行う。尚、データ変換して作成された電子化完成図書には、図面をWWWブラウザで参照可能とするHTMLファイルが付加されている。

④　③でデータ変換して作成された電子化完成図書をCD－Rに焼く

⑤　大阪府水道部に電子化完成図書CDを提出する

2.2.　提出物

電子化完成図書を納品する際の提出物を以下に示す。

1）CD‐R（650MB）2 部　　Windows パソコンでデータが読めるもの
書き込みフォーマットは ISO9660、Romeo、Joliet の
いずれかに準拠すること

CD‐R のラベル（図 1 参照）

記入は専用ライタまたは油性インクによる手書きでも可。

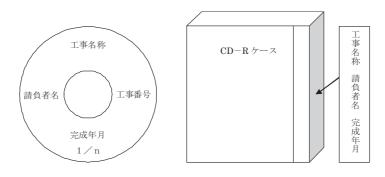



図 1　CD－R のラベル

2）完成図書ファイル作成チェックシート（別紙１）

３.　電子化完成図書のフォーマット

この章では、電子化完成図書のフォーマットについて説明する。
電子化完成図書は、完成図書図面を電子化したTIFFファイル（もしくはDXFファイル）と3種類のCSVファイル、電子化完成図書ＣＤの情報を記載したＴＸＴファイルから構成する。それぞれのCSVファイルで扱う情報を表 1に示す。

表 1　電子化完成図書のCSVファイル

CSVファイル名	CSVファイルで扱う情報
完成図書.csv	工事に関する情報と完成図書目次（3.6参照）
図面.csv	完成図書目次をもとに分類した、ひとまとまりの図面（ドキュメント）に関する情報（3.4.1参照）
bookmark.csv	図面1枚毎の情報（3.4.2参照）

以降では、電子化完成図書の作成手順に従って、上記のCSVファイルへの入力の仕方等について説明する。

3.1.　完成図書図面の分類

完成図書目次をもとに完成図書図面をひとまとまりの図面（ドキュメント）単位に分割し、表 2の図面種別に分類する。尚、施工図（CAD）については、承諾図で作成したものがあるときのみ用意する。

表 2　完成図書図面の図面種別

図面種別	備考
工事履歴	
目次	
特記仕様書	発注図を含む
打ち合わせ議事録	
図面	フロー図･システム図･展開接続図等
施工図	
施工図（CAD）	承諾図で承認したものがある場合のみ（DXF形式）
試験成績書	
その他	
取扱説明書	
ソフト説明書	
ラダー図	

3.2.　キーワードの用意

3.1 で分割したドキュメントについて、図面種別毎に表　3 に挙げる情報を用意する。表　3 では、ドキュメント単位の情報を◎、図面 1 枚単位の情報を○で表している。ここで用意した情報は後でキーワードとして CSV ファイルに入力する。ただし、3.3 のスキャナ入力の際にマルチページ TIFF 形式でスキャナ入力した場合には、図面 1 枚単位の情報（○の項目）をつけることができない。

表 3　図面種別毎に用意する情報

用意する情報 図面種別	工事名称	図面種別	図面名称	設備種別	メーカー名	メーカー図番	取扱説明書名	型名	ブロック名称	図面番号	図名	シーケンスブロックNo.	プログラムコード	計算機名	シーケンサ名称
工事履歴	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
目次	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
特記仕様書	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
打ち合わせ議事録	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
図面	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○	○			
施工図	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
施工図（CAD）	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
試験成績書	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
その他	◎	◎	◎	◎	◎	◎				○	○				
取扱説明書		◎		◎	◎	◎	◎	◎		○					
ソフト説明書	◎	◎		◎	◎	◎			◎	○			○	○	
ラダー図	◎	◎		◎	◎	◎			◎	○			○		○

3.3.　スキャナ入力

以下に示すフォーマットで、極力大きな完成図書図面よりスキャナ入力する。

・　ファイル名

特に規定しない

・　ファイル形式

TIFF形式（圧縮形式：　MMR　G4）

シングルページTIFF形式とマルチページTIFF形式があり、スキャナ入力する完成図書図面によって形式を選択する（表 4参照）

表 4　シングルページTIFF形式とマルチページTIFF形式

形式	ページ数	該当する図面
シングルページTIFF	1 ファイルにつき図面1枚	1　図面種別が工事履歴、図面、施工図、ラダー図である図面 2　枝番、副番を利用する図面 3　図面1枚毎に情報（3.2の○の項目）をつける図面 ①、②、③以外の図面も可
マルチページTIFF	1ファイルあたり 20ページ程度	シングルページTIFFの①、②、③以外の図面については、マルチページTIFF形式でもよい。 ただし、この場合、枝番、副番、図面1枚毎の情報（3.2の○の項目）を利用することはできないので、注意が必要である。

・　読取解像度

図面：　400dpi以上

文書：　200dpi以上

3.4　キーワード入力

3.2で準備した情報を図面.csv、及びbookmark.csvに入力する。尚、bookmark.csvは、3.3においてシングルページTIFFファイル形式でスキャナ入力した図面について作成する。また、0に示す文字については使用しないこと。

3.4.1.　図面.csv への入力方法

図面.csvの各キーワード欄に3.2で挙げたドキュメント単位の情報（◎の項目）を入力する方法を、図面種別毎に表 5に示す。図面種別の“工事履歴など”には、工事履歴、目次、特記仕様書、打ち合わせ議事録、図面、施工図、施工図（CAD）、試験成績書、その他が含まれる。尚、図面種別、及び設備種別のコードについては、それぞれ3.8.1及び3.8.2を参照のこと。図面.csvの記載例については、図 5、図 6に示している。

表 5　図面.csvの各キーワード欄への入力方法

キーワード	文字数	図面種別		
		工事履歴など	取扱説明書	ソフト説明書 ラダー図
工事名称 （メーカー名）	全角40文字	工事名称	メーカー名	工事名称
図面種別	コード2桁	図面種別	図面種別	図面種別
図面名称 （取説名・型名）	全角40文字	図面名称	取扱説明書名と型名	ブロック名称
設備種別	コード2桁	設備種別	設備種別	設備種別
メーカー名	全角40文字	メーカー名	メーカー名	メーカー名
メーカー図番	半角20文字	メーカー図番	メーカー図番	メーカー図番
ファイル形式	半角5文字	“TIF” 施工図（CAD）の場合、“DXF”	“TIF”	“TIF”
コメント	全角2000文字	上記以外に記載すべき情報がある場合に記載		

3.4.2.　bookmark.csv への入力方法

bookmak.csvの各キーワード欄に3.2で挙げた図面1枚単位の情報（〇の項目）を入力する方法を、図面種別毎に以下に示す。尚、bookmark.csvは、3.3においてシングルページTIFFファイル形式でスキャナ入力した図面について作成する。

１）工事履歴、目次、特記仕様書、打ち合わせ議事録、図面、施工図、試験成績書、その他

上記の図面種別の場合におけるbookmark.csvへの入力方法を表 6に示す。また、bookmark.csvの記載例を図 2に示す。

表 6　bookmark.csvの各キーワード欄への入力方法

キーワード	文字数	入力する情報
図名	全角40文字	図名
シーケンスブロックNo.	全角10文字	シーケンスブロックNo.
ページ番号	6桁（ページ番号） -2桁（枝番）	図面番号

〈図名〉			〈シーケンスブロックNo.〉	〈ページ番号〉
表紙				000100-00
図面来歴				000101-00
プラント構成図				000102-00
盤No.の決め方				000103-00
盤No.一覧表(1／6)				000104-00
盤No.一覧表(2／6)				000105-00
盤No.一覧表(3／6)				000106-00
盤No.一覧表(4／6)				000106-01

図 2　bookmark.csvの記載例

２）ソフト説明書

ソフト説明書の場合におけるbookmark.csvへの入力方法を表 7に示す。また、bookmark.csvの記載例を図 3に示す。

表 7　bookmark.csvの各キーワード欄への入力方法（ソフト説明書）

キーワード	文字数	入力する情報
プログラムコード	全角40文字	プログラムコード
計算機名	全角10文字	計算機名
ページ番号	6桁（ページ番号） -2桁（枝番）	図面番号

<プログラムコード>			<計算機名>	<ページ番号>
1系断路器			V／90	000001-00
2系断路器			V／90	000002-00
1系受電断路器			V／90	000003-00
2系受電断路器			V／90	000004-00
1系TR1次遮断器			V／90	000005-00

図 3　 bookmark.csv の記載例（ソフト説明書）

３）ラダー図

ラダー図の場合におけるbookmark.csvへの入力方法を表 8に示す。また、bookmark.csvの記載例を図 4に示す。

表 8　bookmark.csvの各キーワード欄への入力方法（ラダー図）

キーワード	文字数	入力する情報
プログラムコード	全角40文字	プログラムコード
シーケンサ名称	全角10文字	シーケンサ名称
ページ番号	6桁（ページ番号） -2桁（枝番）	図面番号

<プログラムコード>			<シーケンサ名称>	<ページ番号>
表紙			○○○○	000001-00
図面来歴表			○○○○	000002-00
水位制御装置(1)			○○○○	000003-00
水位制御装置(2)			○○○○	000004-00
水位制御装置(3)			○○○○	000005-00
水位制御装置(4)			○○○○	000006-00

図 4　 bookmark.csv の記載例（ラダー図）

3.5.　図面.csv への TIFF ファイル（DXF ファイル）の所在等の情報の入力

3.4.1で入力したキーワードに対応するTIFFファイル、及びDXFファイルのファイル名を記載する。シングルページTIFFファイル、マルチページTIFFファイル、DXFファイルの場合について、以降に図面.csvへの入力方法を示す。

3.5.1.　マルチページ TIFF ファイル、及び DXF ファイルの場合

マルチページTIFFファイル、及びDXFファイルの場合、キーワードが記載されている行に、そのキーワードに該当するTIFFファイル、またはDXFファイルの情報を入力する。表 9に入力方法、図 5に図面.csvの記載例を示す。

表 9　ファイルの所在等の入力方法（マルチページTIFF、及びDXFファイル）

項目	入力内容
工事名称（メーカー名）～コメント	図面種別に応じて記載（3.4.1参照）
パス	図面.csvから見たTIFFファイルの所在を記載（ファイル構造の詳細については3.7.2を参照）
ページ番号	“000001‐00”を記載
副番	“１”を記載
入力区分	“１”を記載
ブックマークファイル	空欄

〈工事名称(メーカー名)〉	〈図面種別〉	〈図面名称(取説名･型名)〉	〈設備種別〉	〈メーカー名〉	〈メーカー図番〉	〈ファイル形式〉
村野高度浄水処理棟揚水工事	2	目次(1)	14	(株)○○○○	1／40－20／40	TIF
村野高度浄水処理棟揚水工事	2	目次(2)	14	(株)○○○○	21／40－40／40	TIF
村野高度浄水処理棟揚水工事	3	仕様書	14	(株)○○○○	1／15－15／15	TIF

〈コメント〉	〈パス〉	〈ページ番号〉	〈副番〉	〈入力区分〉	〈ブックマークファイル〉
	村野高度浄水処理棟揚水工事¥目次(1)¥TIF¥1111.tif	000001-00	1	1	
	村野高度浄水処理棟揚水工事¥目次(2)¥TIF¥1112.tif	000001-00	1	1	
	村野高度浄水処理棟揚水工事¥仕様書¥TIF¥1113.tif	000001-00	1	1	

図 5　図面.csv の記載例（マルチページ TIFF ファイル,及び DXF ファイル）

3.5.2.　シングルページ TIFF ファイルの場合

シングルページTIFFファイルの場合、キーワードが記載されている行に、そのキーワードに該当するTIFFファイルの情報を入力する。表 10に入力方法、図 6に図面.csvの記載例を示す。尚、キーワードに複数のTIFFファイルが該当する場合には、以降の行に続けてTIFFファイルの情報を入力する。このとき、工事名称（メーカー名）～コメントのキーワード欄には、上の行と同じものを入力する。

表 10　ファイルの所在等の入力方法（シングルページTIFF）

項目	入力方法
工事名称（メーカー名）～コメント	図面種別に応じて記載（3.4.1参照）
パス	図面.csvから見たTIFFファイルの所在を記載（ファイル構造の詳細については3.7.2を参照）
ページ番号	“6桁（ページ番号）‐2桁（枝番）”の形で図面番号を記載
副番	“１”を記載 （古いものから順に1,2,･･･,9,A,B,･･･,Z,a,b,･･･,zとする）
入力区分	“１”を記載
ブックマークファイル	図面1枚毎の情報を記載したbookmark.csvの所在を1行目に記載

〈工事名称(メーカー名)〉	〈図面種別〉	〈図面名称(取説名･型名)〉	〈設備種別〉	〈メーカー名〉	〈メーカー図番〉	〈ファイル形式〉	〈コメント〉
村野高度浄水処理棟揚水工事	4	打合せ議事録(1)	14	(株)〇〇〇〇	1／35－20／35	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	4	打合せ議事録(2)	14	(株)〇〇〇〇	21／35－35／35	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	
村野高度浄水処理棟揚水工事	5	展開接続図	14	(株)〇〇〇〇	331LN25521	TIF	

〈パス〉	〈ページ番号〉	〈副番〉	〈入力区分〉	〈ブックマークファイル〉
村野高度浄水処理棟揚水工事¥打合せ議事録(1)¥TIF¥1114.tif	000001-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥打合せ議事録(2)¥TIF¥1115.tif	000001-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1116.tif	000100-00	1	1	村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥bookmark.csv
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1117.tif	000101-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1118.tif	000102-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1119.tif	000103-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1120.tif	000104-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1121.tif	000105-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1122.tif	000106-00	1	1	
村野高度浄水処理棟揚水工事¥展開接続図¥TIF¥1123.tif	000106-01	1	1	

図 6　図面.csv の記載例（シングルページ TIFF）

3.6.　完成図書.csv への工事情報と完成図書目次の入力

ここでは、工事に関する情報と完成図書目次を完成図書.csvに入力する。尚、0に示す文字については使用しないこと。

3.6.1.　工事情報の入力

工事に関する情報を、表 11に挙げる完成図書.csvの各キーワード欄に入力する。

表 11　完成図書.csvへの工事に関する情報の入力方法

キーワード	文字数	備考
完成工事年度	西暦4桁（半角）	工事が終了した年度を記載
工事種別	コード2桁	“工事種別･設備種別コード”を参照 5個まで入力可能
工事名称	全角40文字	
工事箇所	全角40文字	
施工所属	全角40文字	
工期　自	西暦年月日（半角）	
工期　至	西暦年月日（半角）	
請負業者名	全角40文字	
工事番号	全角40文字	20個まで入力可能
コメント	全角2000文字	上記以外に記載すべき情報がある場合に記載

3.6.2.　完成図書目次の入力

完成図書.csvに、3.4.1のキーワードと、キーワードに対応する図面の完成図書目次を目次順に入力する。完成図書.csvへの完成図書目次に関する情報の図面種別毎の入力方法を表 12に示す。工事名称（メーカー名）、図面名称（取説名･型名）、ファイル形式については、図面.csvに記載されているものを記載する。尚、“工事履歴など”には、工事履歴、目次、特記仕様書、打ち合わせ議事録、図面、施工図、試験成績書、その他が含まれる。完成図書.csvの記載例を図 7に示す。

表 12　完成図書.csvへの完成図書目次に関する情報の入力方法

キーワード	文字数	工事履歴など	施工図（CAD）	取扱説明書	ソフト説明書	ラダー図
工事名称（メーカー名）	全角40文字	図面.csvの工事名称（メーカー名）				
図面名称（取説名･型名）	全角40文字	図面.csvの図面名称（取説名･型名）				
ファイル形式	半角5文字	図面.csvのファイル形式				
第1階層	全角40文字	図面.csvの図面名称（取説名･型名）	“施工図（CAD）”	“取扱説明書”	“ソフト説明書”	“ラダー図”
第2階層	全角40文字		図面.csvの図面名称（取説名･型名）	図面.csvの工事名称（メーカー名）	図面.csvの図面名称（取説名･型名）	図面.csvの図面名称（取説名･型名）
第3階層	全角40文字			図面.csvの図面名称（取説名･型名）		
第4階層	全角40文字					
第5階層	全角40文字					

付属書３

<バインダ環境>	完成図書				
<完成工事年度>	<工事種別1>	<工事種別2>	<工事種別3>	<工事種別4>	<工事種別5>
1998	14				
<バインダ定義>					
<ドキュメント環境>	図面				
<工事名称(メーカー名)>	<図面名称(取説名･型名)>	<ファイル形式>	<第1階層>	<第2階層>	<第3階層>
村野高度浄水処理棟揚水工事	工事履歴	TIF	工事履歴		
村野高度浄水処理棟揚水工事	目次(1)	TIF	目次(1)		
村野高度浄水処理棟揚水工事	目次(2)	TIF	目次(2)		
村野高度浄水処理棟揚水工事	仕様書	TIF	仕様書		
村野高度浄水処理棟揚水工事	打合せ議事録(1)	TIF	打合せ議事録(1)		
村野高度浄水処理棟揚水工事	打合せ議事録(2)	TIF	打合せ議事録(2)		
村野高度浄水処理棟揚水工事	展開接続図	TIF	展開接続図		
村野高度浄水処理棟揚水工事	施工図	TIF	施工図		
村野高度浄水処理棟揚水工事	CAD1	DXF	施工図(CAD)	CAD1	
村野高度浄水処理棟揚水工事	CAD2	DXF	施工図(CAD)	CAD2	
村野高度浄水処理棟揚水工事	CAD3	DXF	施工図(CAD)	CAD3	
(株)○○製作所	高圧用スイッチギア AB-3084	TIF	取扱説明書	(株)○○製作所	高圧用スイッチギア AB-3084
(株)○○電機	真空遮断器	TIF	取扱説明書	(株)○○電機	真空遮断器
(株)○○電気	断路器	TIF	取扱説明書	(株)○○電気	断路器
村野高度浄水処理棟揚水工事	高圧運転表示	TIF	ソフト説明書	高圧運転表示	
村野高度浄水処理棟揚水工事	高圧トレンド情報	TIF	ソフト説明書	高圧トレンド情報	
村野高度浄水処理棟揚水工事	水位制御	TIF	ラダー図	水位制御	

<工事名称>	<工事箇所>	<施工所属>	<工期自>	<工期至>	<請負業者名>	<工事番号1>	
村野高度浄水処理棟揚水工事	枚方市村野高見台7-2	村野高度上水施設建設事務所	1995/12/21	1999/3/31	(株)○○○○○	平成8年度7拡424号	
<第4階層>	<第5階層>						

図 7　完成図書.csv の記載例

3.7.　電子化完成図書のファイル構造

ここでは、電子化完成図書CDに関する情報の入力方法、及び電子化完成図書CD内のファイル構造について説明する。

3.7.1.　管理情報

電子化完成図書CDの管理情報をlog.txtに入力し、各CD－Rに登録する。log.txtへの管理情報の入力方法を表 13に示す。

表 13　管理情報の入力方法

項目	入力内容
Version	“1A”を記載
Number	電子化完成図書CDの順番/電子化完成図書CDの総数
Date	電子化完成図書CDを作成した日時を記載 電子化完成図書CDが複数枚あっても、すべて同じ日時を記載する
Type	“N”を記載

log.txtの記載例を以下に示す。

Version: 1A

Number: 1/2

Date: 2000/11/1 21:01:11

Type: N

3.7.2.　電子化完成図書 CD 内のファイル構造

3.7.2.1.　CD1 枚の場合

電子化完成図書CDが1枚の場合におけるCD内のファイル構造を図 8に示す。図面フォルダ以下には、工事名称（メーカー名）、図面名称（取説名･型名）、ファイル形式の名前のフォルダを作成し、該当するドキュメントの一連のファイルを置く。

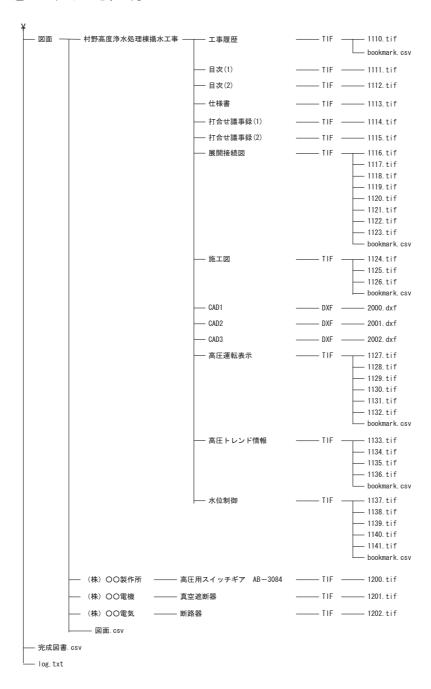



図 8　CD1枚の場合のファイル構造

3.7.2.2.　複数枚の CD の場合

電子化完成図書CDが複数枚の場合におけるCD内のファイル構造を図 9に示す。図面.csvには、各CDに登録されているTIFFファイル、及びDXFファイルのドキュメントに関するキーワードのみを記載する。尚、1つのドキュメントに対応する一連のTIFFファイルについては同じCD内に登録するものとする。また、完成図書.csvについては、一番最後のCDに登録する。

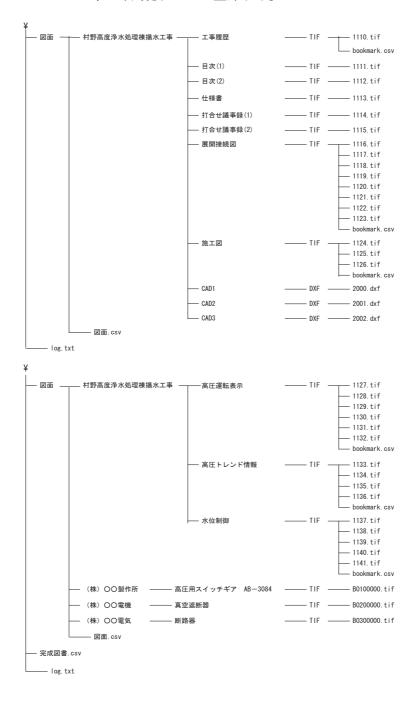



図 9　CD が複数枚の場合のファイル構造

3.8.　コード

ここでは、電子化完成図書で利用するコードの一覧を示す。

3.8.1.　図面種別コード

図面種別のコード一覧を表 14に示す。尚、施工図（CAD）は図面種別6の施工図に含む。

表 14　図面種別コード

コード	図面種別
1	工事履歴
2	目次
3	特記仕様書（含発注図）
4	打合せ議事録
5	図面（フロー図・システム図・展開接続図等）
6	施工図
7	試験成績書
8	その他
10	取扱説明書
20	ソフト説明書
30	ラダー図

3.8.2.　工事種別･設備種別コード

工事種別、及び設備種別のコード一覧を表 15 に示す。

表 15　工事種別コード･設備種別コード

コード	工事種別・設備種別
1	特高高圧・高圧受配電設備工事
2	ケーブル工事（特高・高圧）
3	情報処理設備工事
4	構内情報伝送設備工事
5	監視制御設備工事（総合管理設備、水処理制御設備、送配水制御設備、受配電制御設備）
6	簡易遠隔監視装置設置工事（ITV設備、防犯設備）
7	無停電電源設備工事（蓄電池、充電器盤、インバータ盤、直流盤）
8	発電設備工事（ガスタービン発電設備、ディーゼル発電設備）
9	工業計器設備工事
10	通信設備（多重無線、60MHz無線機）
11	無線鉄塔設備工事
12	流量計設備工事
13	水質計器設備工事（水質モニター、コイセンサー、ゆうきセンサー等含む）
14	ポンプ設備工事（各種）
15	バルブ設備工事（各種）
16	水処理設備工事
17	薬品注入設備工事
18	粉末活性炭設備工事
19	生物処理機械設備工事
20	オゾン処理設備工事
21	活性炭吸着池設備工事
22	排水処理設備工事
23	拠点給水処理設備工事
24	竪杭設備工事（電気・機械）
25	荷役機械設備工事（ｴﾚﾍﾞｰﾀ、天井走行ｸﾚｰﾝ、電動ﾎｲｽﾄ、ｺﾝﾍﾞﾔ、ﾄﾗｯｸｽｹｰﾙ）
26	建築付帯電気設備工事
27	建築付帯機械設備工事（換気・空調・衛生）
28	テレビ共聴設備工事
29	建築工事
30	土木工事
31	その他

3.9.　使用できない文字

以下に挙げる文字については使用しないこと。

半角文字

" * , / : ; < > ? ¥ |

全角文字

～ ∪ ∩ ¬ ∠ ⊥ ≡ ≒ √ ∵ ∫ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ
Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞
㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽
㍼ ∮ ∑ ∟ ⊿ 纊 褜 鍈 銈 蓜 俉 炻 昱 棈 鋹 曻 彅 丨 仡 仼
伀 伃 伹 佖 侒 侊 侚 侔 俍 偀 倢 俿 倞 偆 偰 偂 傔 僴 僘 兊
兤 冝 冾 凬 刕 劜 劦 勀 勛 匀 匇 匤 卲 厓 厲 叝 﨎 咜 咊 咩
哿 喆 坙 坥 垬 埈 埇 﨏 塚 增 墲 夋 奓 奛 奝 奣 妤 妺 孖 寀
甯 寘 寬 尞 岦 岺 峵 崧 嵓 﨑 嵂 嵭 嶸 嶹 巐 弡 弴 彧 德 忞
恝 悅 悊 惞 惕 愠 惲 愑 愷 愰 憘 戓 抦 揵 摠 撝 擎 敎 昀 昕
昻 昉 昮 昞 昤 晥 晗 晙 晴 晳 暙 暠 暲 暿 曺 朎 朗 杦 枻 桒
柀 栁 桄 棏 﨓 楨 﨔 榘 槢 樰 橫 橆 橳 橾 櫢 櫤 毖 氿 汜 沆
汯 泚 洄 涇 浯 涖 涬 淏 淸 淲 淼 渹 湜 渧 渼 溿 澈 澵 濵 瀅
瀇 瀨 炅 炫 焏 焄 煜 煆 煇 凞 燁 燾 犱 犾 猤 猪 獷 玽 珉 珖
珣 珒 琇 珵 琦 琪 琩 琮 瑢 璉 璟 甁 畯 皂 皜 皞 皛 皦 益 睆
劯 砡 硎 硤 硺 礰 礼 神 祥 禔 福 禛 竑 竧 靖 竫 箞 精 絈 絜
綷 綠 緖 繒 罇 羡 羽 茁 荢 荿 菇 菶 葈 蒴 蕓 蕙 蕫 﨟 薰 蘒
﨡 蠇 裵 訒 訷 詹 誧 誾 諟 諸 諶 譓 譿 賰 賴 贒 赶 﨣 軏 﨤
逸 遧 郞 都 鄕 鄧 釚 釗 釞 釭 釮 釤 釥 鈆 鈐 鈊 鈺 鉀 鈼 鉎
鉙 鉑 鈹 鉧 銧 鉷 鉸 鋧 鋗 鋙 鋐 﨧 鋕 鋠 鋓 錥 錡 鋻 﨨 錞
鋿 錝 錂 鍰 鍗 鎤 鏆 鏞 鏸 鐱 鑅 鑈 閒 隆 﨩 隝 隯 霳 霻 靃
靍 靏 靑 靕 顗 顥 飯 飼 餧 館 馞 驎 髙 髜 魵 魲 鮏 鮱 鮻 鰀
鵰 鵫 鶴 鸙 黑 ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ ￤ ＇ ＂ ⅰ ⅱ
ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ￤ ＇
＂ ㈱ № ℡ 纊 褜 鍈 銈 蓜 俉 炻 昱 棈 鋹 曻 彅 丨 仡 仼 伀
伃 伹 佖 侒 侊 侚 侔 俍 偀 倢 俿 倞 偆 偰 偂 傔 僴 僘 兊 兤
冝 冾 凬 刕 劜 劦 勀 勛 匀 匇 匤 卲 厓 厲 叝 﨎 咜 咊 咩 哿
喆 坙 坥 垬 埈 埇 﨏 塚 增 墲 夋 奓 奛 奝 奣 妤 妺 孖 寀 甯
寘 寬 尞 岦 岺 峵 崧 嵓 﨑 嵂 嵭 嶸 嶹 巐 弡 弴 彧 德 忞 恝
悅 悊 惞 惕 愠 惲 愑 愷 愰 憘 戓 抦 揵 摠 撝 擎 敎 昀 昕 昻
昉 昮 昞 昤 晥 晗 晙 晴 晳 暙 暠 暲 暿 曺 朎 朗 杦 枻 桒 柀
栁 桄 棏 﨓 楨 﨔 榘 槢 樰 橫 橆 橳 橾 櫢 櫤 毖 氿 汜 沆 汯
泚 洄 涇 浯 涖 涬 淏 淸 淲 淼 渹 湜 渧 渼 溿 澈 澵 濵 瀅 瀇
瀨 炅 炫 焏 焄 煜 煆 煇 凞 燁 燾 犱 犾 猤 猪 獷 玽 珉 珖 珣
珒 琇 珵 琦 琪 琩 琮 瑢 璉 璟 甁 畯 皂 皜 皞 皛 皦 益 睆 劯
砡 硎 硤 硺 礰 礼 神 祥 禔 福 禛 竑 竧 靖 竫 箞 精 絈 絜 綷
綠 緖 繒 罇 羡 羽 茁 荢 荿 菇 菶 葈 蒴 蕓 蕙 蕫 﨟 薰 蘒 﨡
蠇 裵 訒 訷 詹 誧 誾 諟 諸 諶 譓 譿 賰 賴 贒 赶 﨣 軏 﨤 逸
遧 郞 都 鄕 鄧 釚 釗 釞 釭 釮 釤 釥 鈆 鈐 鈊 鈺 鉀 鈼 鉎 鉙
鉑 鈹 鉧 銧 鉷 鉸 鋧 鋗 鋙 鋐 﨧 鋕 鋠 鋓 錥 錡 鋻 﨨 錞 鋿
錝 錂 鍰 鍗 鎤 鏆 鏞 鏸 鐱 鑅 鑈 閒 隆 﨩 隝 隯 霳 霻 靃 靍
靏 靑 靕 顗 顥 飯 飼 餧 館 馞 驎 髙 髜 魵 魲 鮏 鮱 鮻 鰀 鵰
鵫 鶴 鸙 黑

（別紙１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日

管理担当者

総括監督員	主任監督員	監督員

主任(監理)技術者	現場代理人

完成図書ファイル作成チェックシート

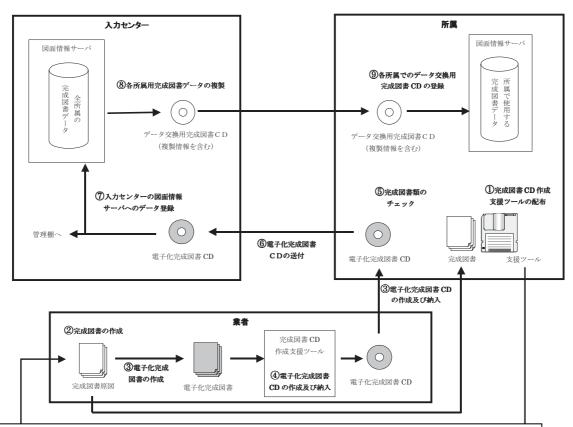
工事名称	

請負業者名	
入力業者名	
入力責任者	印
入力年月日	年　　月　　日

作成記録			
パソコン メーカー		機種名	
スキャナ メーカー		機種名	
ソフト メーカー		ソフト名	
CD-R機種/メーカー		媒体製造 メーカー	
解像度	図：＿＿dpi　文書：＿＿dpi	データ形式	
総ページ数	図：＿＿＿　文書：	提出部数	＿＿＿＿部＿＿＿枚

請負者チェック	印		年月日	年　　月　　日	
府水チェック	印		年月日	年　　月　　日	
チェック項目	請負者	府水	チェック項目	請負者	府水
CD-Rの外形･傷･ラベル記入			ファイル抜けチェック		
フォルダ抜けチェック			ページ抜けチェック		
画像チェック（図面1／20、文書1／20程度抜き取り）					
文字･記号が明瞭であること			焦点ぼけが無いこと		
線のとぎれ、薄れがないこと			ゴミ等の写り込みが無いこと		
濃淡むらがないこと			画像ネジレが無いこと		
支援ツールにてエラーが検出されないこと					

電子化完成図書作成フロー

完成図書の新規作成フロー

①　完成図書ＣＤ作成支援ツールの配布（監督員作業）
各監督員は、パブリックフォルダーに掲載されている。完成図書ＣＤ作成支援ツール（以下「支援ツール」という。）を必要に応じて請負者に配布する。

②　完成図書の作成（請負者作業）
「電気機械設備共通仕様書」に基づき完成図書の原図を作成する。

③　電子化完成図書の作成（請負者作業）
「電気機械設備共通仕様書　付属書３　電子化完成図書作成の手引き」に記載のフォーマットに基づいて、TIFF (G4, 400dpi/200dpi)のイメージファイルと、管理のためのインデックスファイル（csv）を使った電子化完成図書を作成する。

④　電子化完成図書ＣＤの作成及び納入（請負者作業）
支援ツールを用いて、電子化完成図書の登録内容の確認と、納品用フォーマットの電子化完成図書ＣＤ（以下「図書ＣＤ」という。）の作成を行う。（作成支援ツールでは、ハードディスクや１枚以上のＭＯやＣＤ等に書き込まれた電子化完成図書（ﾀｲﾌﾟ１若しくはﾀｲﾌﾟ2）をチェックすると共に納品用フォーマット（ﾀｲﾌﾟ2）に変換するまでの機能を提供する。）
また、請負者は、必要数の完成図書（白焼きコピー製本）と図書ＣＤ及びチェックシートを当該監督員に納入する。

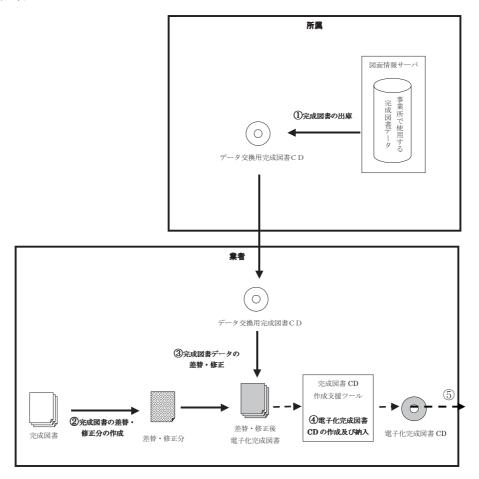
⑤　完成図書類のチェック（監督員作業）
監督員は、納入された完成図書類のチェックを行った後、担当課長までチェックシートの決済を行うと共に、図書ＣＤ2組を所属システム担当者に提出する。

⑥　図書ＣＤの送付（所属システム担当者・監督員作業）
各所属では、必要事項を管理簿に記録した後、図書ＣＤを保管庫に保管すると共に、図書ＣＤ1組と決裁済みチェックシートのコピーを入力センターに送付する。

⑦　入力センターの図面情報サーバへのデータ登録（入力センター作業）
入力センターでは、各所属の監督員から送付された図書ＣＤを、図面情報サーバに登録し、当該ＣＤを管理棚に保管すると共に、必要事項を管理台帳に記入する。

⑧　各所属用完成図書データの複製（入力センター作業）
図面情報サーバに登録した電子化完成図書より、複製情報を含むデータ交換用完成図書ＣＤ（以下「複製図書ＣＤ」という。）を作成し、管理台帳のコピーと共に所属システム担当者に送付する。

⑨　各所属での複製図書ＣＤの登録（所属システム担当者・監督員作業）
各所属では、複製図書ＣＤを各所属の図面情報サーバに登録する。
また、登録が完了したことを入力センターに報告する。

完成図書の差替・修正フロー

① 完成図書の出庫（所属システム担当者作業）
当該監督員は、データ交換用完成図書ＣＤ（以下「差替図書ＣＤ」という。）の作成を所属システム担当者に依頼する。
所属システム担当者は、各所属の図面情報管理システムの外部媒体出力機能を用いて、差替図書ＣＤを作成する。一枚のＣＤ－Ｒには、キングファイル 10 冊分程度を書き込むことができる。一枚のＣＤ－Ｒに複数工事分の完成図書を一度に書き込むことはできない。

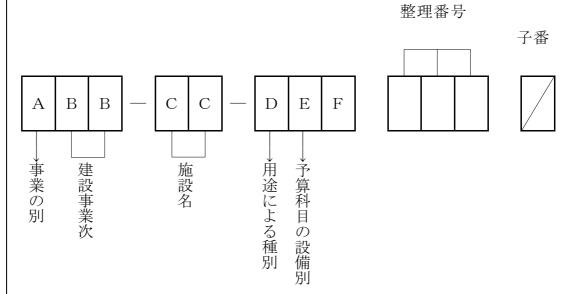
② 完成図書の差替・修正分の作成（請負者作業）
紙ベースで完成図書の差替・修正分を作成する。

③ 完成図書データの差替・修正（請負者作業）
請負者は、工事で発生した図面の修正に基づき、差替図書ＣＤで渡された電子化完成図書について、当該ページの差替・修正・追加および、必要なインデックスファイルの修正を行う。

④ 電子化完成図書ＣＤの作成及び納入（請負者作業）
支援ツールを用いて、電子化完成図書の登録内容の確認と、納品用フォーマットの電子化完成図書ＣＤ（以下「図書ＣＤ」という。）の作成を行う。（作成支援ツールでは、ハードディスクや１枚以上のＭＯやＣＤ等に書き込まれた電子化完成図書（ﾀｲﾌﾟ １若しくはﾀｲﾌﾟ 2）をチェックすると共に納品用フォーマット（ﾀｲﾌﾟ 2）に変換するまでの機能を提供する。）
また、請負者は、必要数の完成図書（白焼きコピー製本）と図書ＣＤ及びチェックシートを当該監督員に納入する。

⑤ 前項（⑤）以下の完成図書登録作業を行う。

完 成 図 書 作 成 基 準

分類番号のつけ方

Ａ．事業の別

０．一般に関すること。

１．上水道に関すること。

２．工業用水道に関すること。

Ｂ．建設事業年次

＜上水道の場合＞		＜工業用水道の場合＞	
01	第 1 次 建 設 事 業	01	第１次工業用水道事業
02	第 2 次 建 設 事 業	02	第２次工業用水道事業
03	第 3 次 建 設 事 業	03	第３次工業用水道事業
04	第 4 次 建 設 事 業	04	第４次工業用水道事業
05	第 5 次 建 設 事 業	05	第５次工業用水道事業
06	第 6 次 建 設 事 業		
07	第 7 次 建 設 事 業		
00	改 良 事 業		

C．施設名

１－淀川以北の地域に関すること。

＜上水道の場合＞

10　共通
11　千里浄水池
12　小野原ポンプ場
13　郡家ポンプ場
14　高槻ポンプ場
15　奈佐原浄水池
16　一津屋取水場
17　三島浄水場
18　山田ポンプ場
19　その他
51　万博公園浄水施設

＜工業用水道の場合＞

10　共通
11　一津屋取水場
12　三島浄水場
19　その他

２－淀川以南，大和川以北の地域に関すること。

＜上水道の場合＞

20　共通
21　磯島取水場
22　村野浄水場
23　四条畷ポンプ場
24　枚岡ポンプ場
25　藤井寺ポンプ場
27　庭窪浄水場
28　布施ポンプ場
29　その他

＜工業用水道の場合＞

20　共通
21　大庭浄水場
22　枚岡加圧ポンプ所
23　八尾ポンプ場
29　その他

３－大和川以南，大津川以北の地域に関すること。

＜上水道の場合＞

30　共通
31　美陵ポンプ場
32　富田林ポンプ場
33　狭山ポンプ場
34　泉北浄水池
35　和泉浄水池
36　河南加圧ポンプ場

＜工業用水道の場合＞

30　共通
31　堺加圧ポンプ所
32　泉大津ポンプ場
39　その他

39　そ　　　の　　　他

４－大津川以南の地域に関すること。

＜上水道の場合＞	＜工業用水道の場合＞
40　共　　　　　　通	現在は該当なし。
41　泉佐野ポンプ場	
42　泉　南　浄　水　池	
49　そ　　　の　　　他	

D．用途による種別

0	一　　　　　　般	5	通　信　設　備
1	土　　　　　　地	6	送　配　水　管　路
2	建　　　　　　物	7	計　算　機　設　備
3	構　　造　　物	8	
4	電　気　機　械	9	そ　　の　　他

E．予算科目の設備別

0	一　　　　　　般	5	浄　水　池　設　備
1	取　水　設　備	6	浄　水　設　備
2	導　水　設　備	7	貯蔵品購入品
3	送水ポンプ設備	8	
4	送水管路設備	9	そ　　の　　他

８桁の分類番号の中で，施設名の部分は「事業別」の番号と関連させないと索引ができない。たとえば21とあっても上水道であれば磯島取水場であるが，工業用水道の場合は大庭浄水場である。

F．現在空番になっている。

付属書３

完成図書の表紙作成基準

⑴　電　気　設　備

⑵　機　械　設　備

(1)
(3)
(2)
(4)
(5)
(7)
(6)
(1) 大阪府水道建設事業
(2) 完 成 図 書
(3) 工 事 件 名
(4) (工 事 番 号)
(5) 竣 工 年 月
(6) 大阪府水道部
(7) (施 工 業 者 名)

付属書　４　府水仕様について
（原則として無停電電源設備は除く）

１．盤番号の標準（1.1.1）

⑴　盤番号は場全体を考えて振り分けを行うこと。

⑵　盤以外については JIS C 0401 等を参考にして定める。

例）

①	Ｐ	ポンプ	②	ＢＴ	バッテリー
③	Ｍ	モータ	④	ＩＮ	インバーター
⑤	ＬＡ	アレスター			

２．盤銘板の標準（1.1.2）

⑴　盤銘板については盤番号を先に次に盤名称の順に記入すること。

⑵　自立盤については前後面に取り付けることを原則とする。

例）

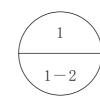
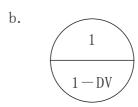
#23　６号ポンプ機側盤

３．ケーブル番号の標準（1.1.3）

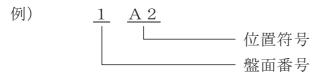
⑴　ケーブル番号は若い番号を先に書くこと。なお、盤以外の機器については盤を先に、次に盤以外の機器を書くこと。

⑵　図面上の表示は次に示す。

例）　ａ．盤番号１と盤番号２に継がれる１条目のケーブル
　　　ｂ．盤番号１と直流弁に継がれる１条目のケーブル

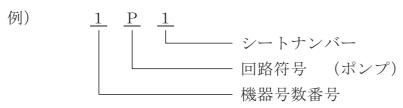
シーケンス内ケーブルスケジュール

a.
b.
端子台図	a.　１－２－１	b.　１－ＤＶ－１
ケーブル布設表	a.　１－２－１	b.　１－ＤＶ－１

４．座標符号の標準（1.1.6）

例）

５．シーケンスブロックナンバーの標準（1.1.8）

例）

６．回路線符号の標準（1.1.9）

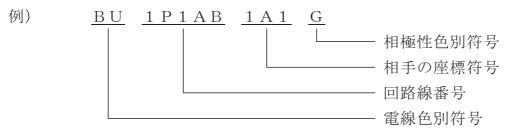
例）

７．色別符号の標準（1.1.10）

⑴　シールド線および色別不可のものについては電線色別についてはこの限りでない。

⑵　極性色別については母線より接点、器具等を通過することにより中性色となる。

８．接続番号の標準（1.1.11）

１　接続番号は次のように表す。

例）

９．リレー接点表の標準（1.1.12）

⑴　器具名には自動制御器具番号と形式を記入すること。

⑵　接点の使用先はブロックナンバーと横行符号を記入すること。

⑶　リレーコイルの端子番号を表に記入すること。

10．特高、高圧の母線については、Ｒ、Ｓ、Ｔの符号とする。（1.1.14）

11．制御母線記号の標準（1.1.15）

⑴　低圧母線より分岐する場合においては、シーケンスブロックナンバーとＲ、Ｓ、Ｔに一連番号をつけたものを組み合わせて線符号とする。

⑵　単３、中性線についての符号はＮとする。

⑶　インバーター出力における線符号はＶ、Ｆとする。

⑷　直流出力における線符号はＰ、Ｎとする。

⑸　接地母線についての線符号はＥとする。

⑹　直流について母線より分岐する場合の分岐線符号は、シーケンスブロックナンバーとＰ、Ｎに一連番号をつけたものの組合せによる。

例）　連記の例を示す。

遠方自動	ＲＡ		
直流の共通回路	Ｐ－Ｃ	Ｎ－Ｃ	
インバーター交流ランプ回路	１ＫＬ	２ＫＬ	
交流ランプ回路	１ＡＬ	２ＡＬ	３ＡＬ
交流ランプテスト回路	１ＡＬＴ	２ＡＬＴ	

12．展開接続図の標準(1.1.16)

⑴　シーケンスは別添参考図を標準とするが最低記入符号等は次による。

①器具には自動制御番号と取付盤番号および座標符号を記入すること。

②端子は端子番号を記入すること。

③接点にはその器具の記入されているシーケンスブロックナンバーを記入すること。なお、同ページに器具のある場合は除く。

④盤内配線についての線符号は、ケーブルにおいて１枚のシート内での盤間につながれている一連番号を記入すること。

⑤シーケンスの他にケーブルスケジュール、シーケンスブロックナンバー、リレー接点表を記入すること。

13．盤の構造および板厚の標準(1.2.1)

⑴　盤の大きさ、取付け器具等によって標準の板厚を使用する場合は、特記仕様書に記入されたものを使用する。

⑵　計装盤は変換器収納盤、中継端子盤等をいう。

⑶　分電盤とは壁掛式ＭＣＢ収納盤等をいう。

⑷　盤間、仕切盤については１．６ｍｍ以上の厚さとする。

14. 盤中通路の標準(1.2.3)

⑴ 保護盤については、保守面に支障のない場合は打ち抜き鉄板でもよい。

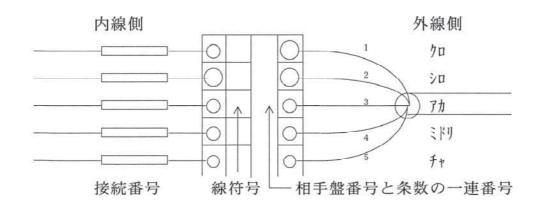
⑵ 打ち抜き鉄板を使用する場合は、取付け、取り外し時に充電部に接触しないよう、また鉄板の落下等に対しケーブルに損傷を与えないように考慮すること。

15. 盤配線の標準(1.2.7)

⑴ 同一器具内の渡り線についてはマークチューブは取り付けなくてもよい。

⑵ 端子間の距離が短く、線の所在がはっきりしている場合は片方のみの取付けで良い。

⑶ 盤番号が盤以外の場合は日本語と符号を併記すること。

⑷ 符号の配列及び端子台の記入符号は次によること。

外線側ケーブル芯線については上からまたは左から芯線色もしくは番号順にならべること。

⑸ マークチューブに記入する接続番号について、横方向に取付ける場合は左から右へ、縦方向に取付ける場合は下から上へ記入すること。

⑹　極性色別については、絶縁キャップ又は色別リングにて色別する。

⑺　ケーブル番号の表示は絶縁材の丸札等に消えないよう記入したものを、腐らない糸にてケーブルに取り付ける。

16. 盤内表示の標準(1.2.8)

リレー等については取付け面の他には現物にも表示を行う。

17. 盤内器具等施工の標準(1.2.9)

⑴　三点開閉器は左回しでランプテスト、右回しで警報停止引いて閉塞継電器の復帰できるものとする。

⑵　アナンシェターリレー、基盤組込みリレー装置等についてはユニットまたは基板(カード）等がプラグイン方式であれば補助継電器単体が必ずしもプラグイン方式でなくてもよい。

⑶　故障表示は自動制御番号表示を原則するが困難なものについては故障名の和文表示でよい。

18. 故障表示（警報）パターンは、次のフローチャートによること。

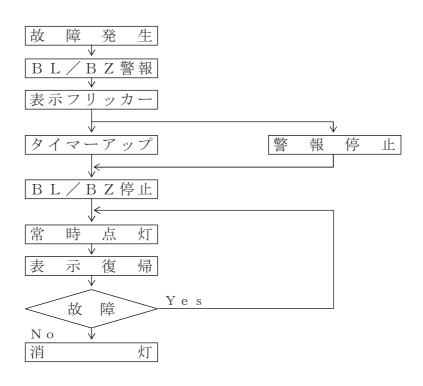



図　故障表示（警報）パターンフローチャート

19. ケーブル布設表の参考例を次表に示す。

ケーブル番号	布設区間		ケーブル名称	ケーブル規格		用途	使用芯線数
	自	至		芯数	サイズ		
1 -2 -1	○○盤	△△盤	600V CV	2	3.5sq	電源	2
1 -DV -1	○○盤	直流盤	CVV	7	3.5sq	ｺﾝﾄﾛｰﾙ	6

（本表は展開接続図の中には記載しなくてもよいが、完成図書には含むこと）

三線結線図の線符号

ECWD 方式

大阪府水道部	図番	
□□ポンプ場	完成	平成 ○ 年 △ 月 × 日
図　名	展　開　接　続　図 PCT回路（1号受電）	
原図番号		
記事	平成**年度 改 第@@@号	
		S1

関西電力（株）より
3φ3W77kV60Hz
1号線（常用）

R S T
K K K
CT×3
(CMK−100)
300/5A
40VA
k k k l
L L L
CHd
検出器 (DD−10M)
E相

89E1
ES
(CFG−RA)
84kV
(受電CT両通)
E

89R1 (ESR1)
DS
(CFGT−ERA)
84kV1200A
RC25kA
EA

52R1
GCB
(CFPT−70−25. FA)
84kV 1200A
RC25kA

R S T
B1
SHNO. S4

LB LC LD LE
1 2 3 4
A1
SHNO. S2
E

保護器 <GS1 >
(HG7−P1)
A S E U V + −
LH LJ
E

制御器 <GS1 >
(HG7−SM1)
+ U V P N C+ a c b − E
NH NJ
E

<GS1 >
VD1
X
1
1 0
DC100V

SHNO. 1R1
P−1R1
N−1R1
P−1R1
N−1R1
「電圧無でON」
#GS1　1号受電ユニット監視盤

ケーブル No.	①
	1 601−GS

	(601T2) LB LD LC LE

	(GS1T) LB LD LC LE

器具名	接点		端子	使用先
VD1 X	C	a	2・3	
		b	2・4	1R1K
	C	a	11・12	
		b	11・5	
	C	a	15・14	
		b	15・6	1R1N
(MM 4XPN)	C	a	9・8	
		b	9・7	
COIL			1−10	

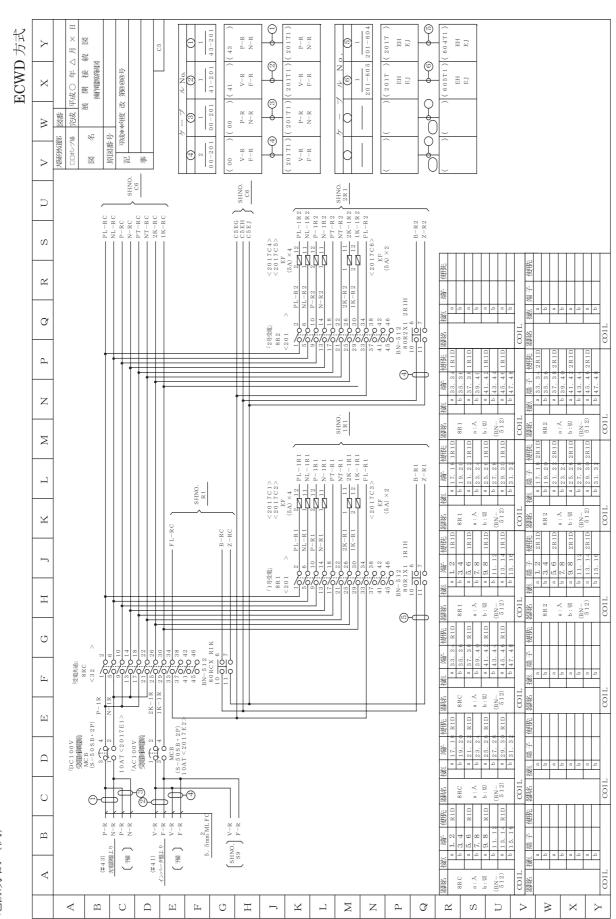
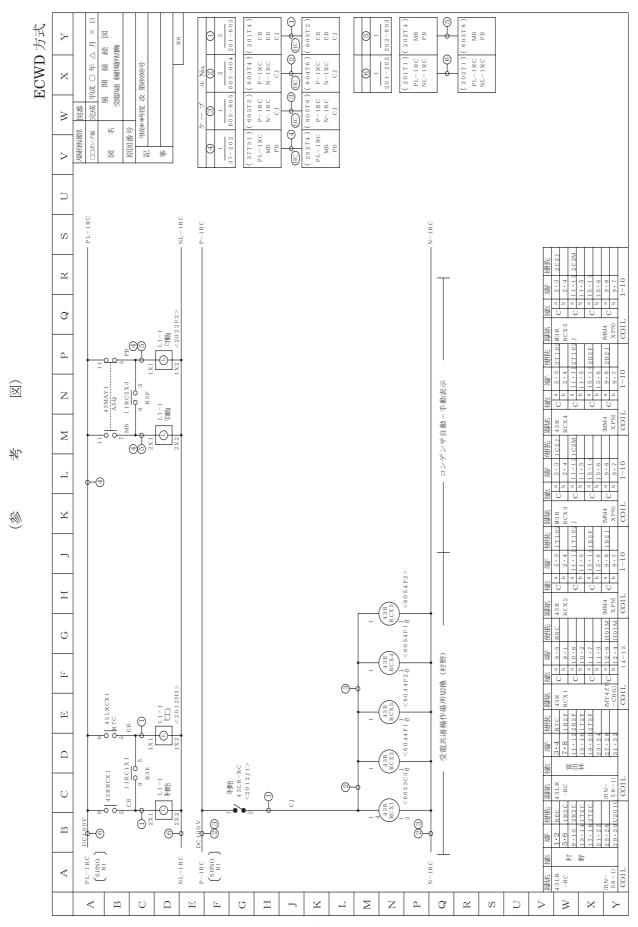
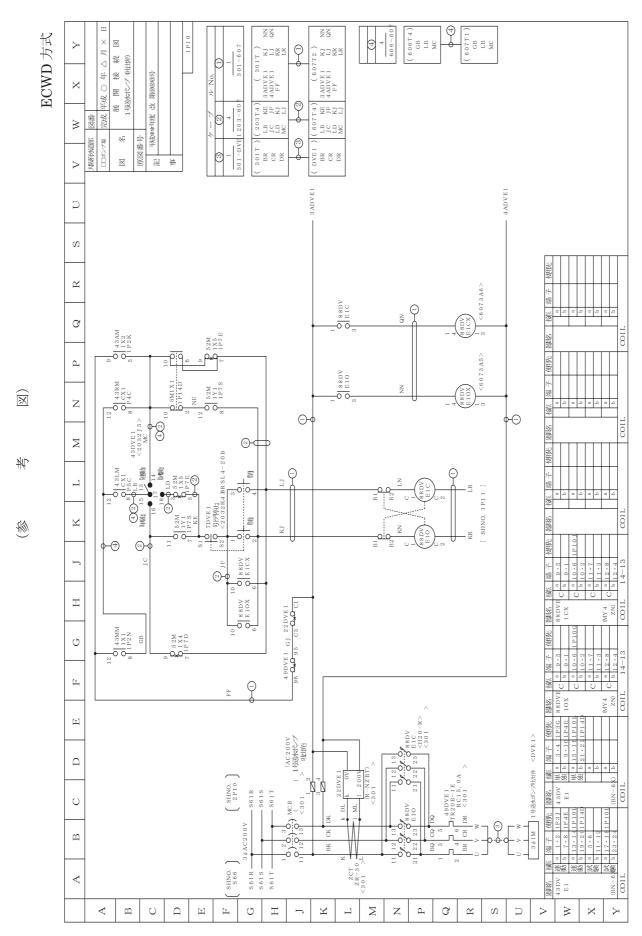
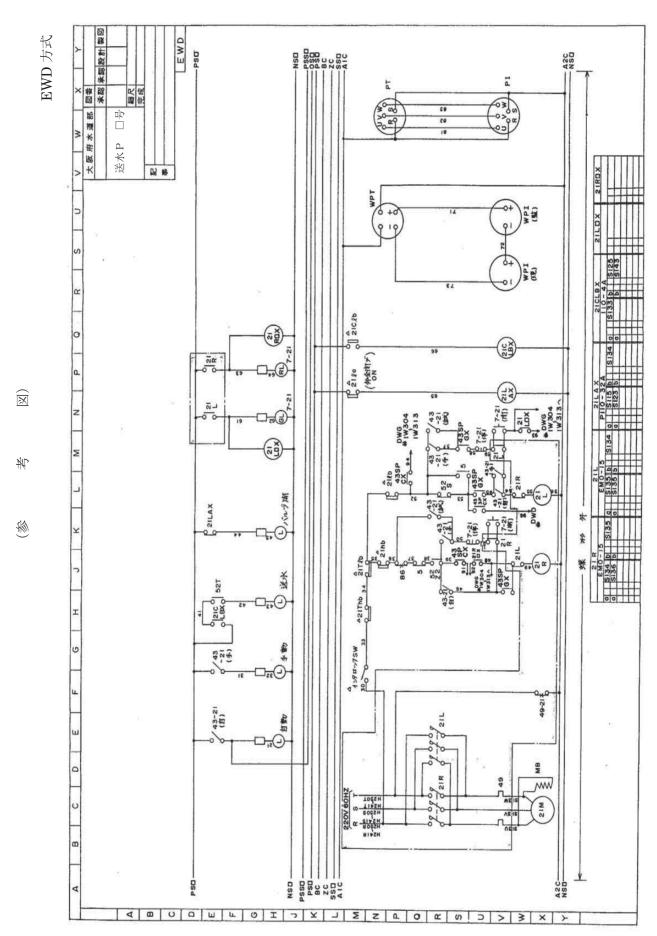
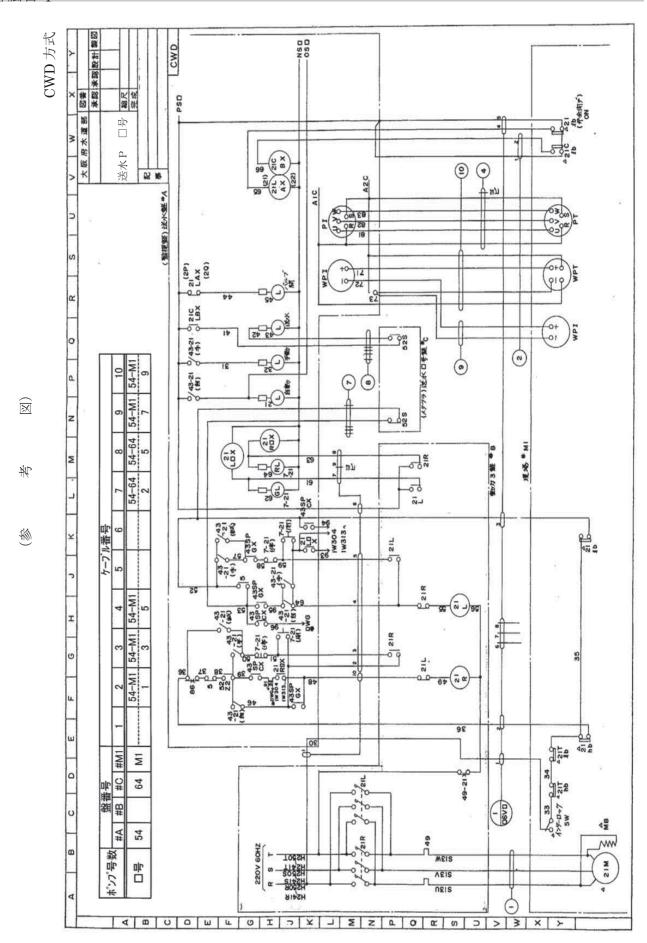
制御電源分割（例）
ECWD 方式
展 開 接 続 図
操作電源系統図

ECWD方式
（参　考　図）
受電共通操作場所切換（村野）
コンデンサ自動－手動表示
展開接続図

付属書 4

（参　考　図）

EWD 方式

CWD方式
（参　考　図）
大阪府水道部
送水P　口号
ポンプ号数
盤番号
#A
#B
#C
#M1
口号
54
64
M1
ケーブル番号
54-M1
54-64
220V 60HZ
21M
26VD
PSD
NSD
OSD
CWD
PI
PT
WPI
WPT
21LOX
21ROX

1　一般電気設備制御器具番号について

ＪＥＭ―１０９０にのっとって府水独自の項目を加味し、下記要領により構成する。

ただし、省略しても不便を感じない場合、または方針によりがたい場合は、省略及び例外とすることができる。

(1)　器具番号の構成

(ｲ)　ハイフォン

器具番号はできるだけ短いのが好ましいので、以下の場合を除いて原則として使用しない。

(a)　数字と数字の間　　1－52

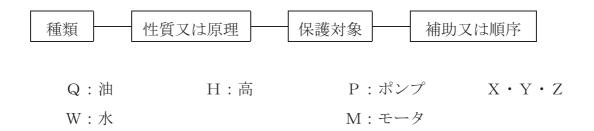
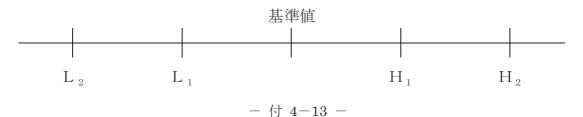
(b)　数字と補助符号（Ｉ又はＯ）の間　　7－IV

(c)　継電器の複合要素の一部を示す場合

(ﾛ)　基本番号

表－１に準ずる。

(ﾊ)　補助符号

補助符号は規定されたもの（表－２）以外は原則して使用しない。ただし補助符号を２種類以上必要とするときは、原則してつぎの順位とする。

性質については、基準値に対して高低とする。

(2)　機器呼称は下記とする。

<table>
<tr><td rowspan="7">バルブ</td><td>ＩＶ</td><td>流　入　弁</td><td>ＬＭ</td><td>水位計</td></tr>
<tr><td>ＳＶ</td><td>吸　込　弁</td><td>ＰＭ</td><td>圧力計</td></tr>
<tr><td>ＤＶ</td><td>吐　出　弁</td><td>WM</td><td>流量計</td></tr>
<tr><td>ＯＶ</td><td>流　出　弁</td><td>ＣＰ</td><td>コンプレッサー</td></tr>
<tr><td>ＢＶ</td><td>直　送　弁</td><td>ＢＰ</td><td>排水ポンプ</td></tr>
<tr><td>ＣＶ</td><td>逆　止　弁</td><td>ＡＣ</td><td>空調機</td></tr>
<tr><td>Ｅ□□</td><td>非　常　弁</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＴ</td><td>バッテリー</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ＩＮ</td><td>インバーター</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｍ</td><td>モーター</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｐ</td><td>ポンプ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ＬＡ</td><td>アレスター</td><td></td><td></td></tr>
</table>

バルブについては、電動の場合、Ｅをつける。ＩＶＥ、標準単線結線図における機器呼称は表－３による。

(3)　把手の形

（ピストル型）モータの起動、停止、遮断器の入、切

（楕　　　円）断路器、バルブコントロール、94(86)、43（リターン）

（菊　　　形）電源、43

（　　円　　）非常停止

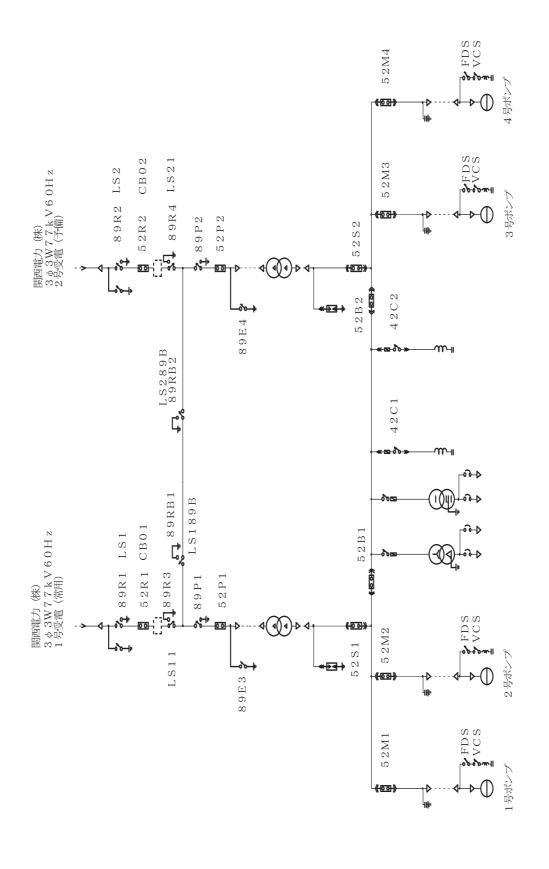
表－2　補 助 符 号

符号	内　　容	例	
A	自　　動	43AHM	電動機自動－手動開閉器
	空　　気	63AHT	タンク空気圧上昇
		77A	自動制御異常
A C	空　調　機		
B	母　　線	64B	母線過電圧接地
	側　　路（バイパス）	49BV	バイパス弁過負荷
	排　　水	33HBP	排水ポンプ（水位）上昇
	ベ　　ル	BL	
B T	バッテリー	30BT	バッテリー故障
B C	充　電　器	80BC	直流不足電圧
C	共　　通	8C	共通制御電源開閉器
	冷　　却	69CM	電動機冷却異常
	投入コイル	52C	遮断器投入コイル
	コンデンサ	67C	コンデンサ地絡
	中　　央		
	閉		
	商　　用	43CI	商用－インバータ切替
C P	コンプレッサー	49CP	コンプレッサー
D	吐　　出	TDVE	吐出弁トルク
	機　　側	43DLR	受電機側－現場切替開閉器
	直　　流	64D	直流接地
E	非　　常	5EM	電動機非常停止
	電　　圧	49IVE	電動流入弁過負荷
	浮　　動		
F	均　　等	43FE	均等－浮動切替
	フィーダー	52F	フィーダー遮断器
	フリッカー	66F	フリッカー継電器
	ヒ ュ ー ズ	71FBC	充電器保護ヒューズ断
G	接　　地	51GR	受電過電流接地
H	高	33WH	水位上昇
	所　　内	52H	所内遮断器
	保　　持		
	手　　動	43AHM	電動機自動－手動切替ＳＷ

符号	内　　　容	例	
I	流　　　入	49-IVE	
I L	インターロック	89-ILRI	受電断路器インターロック
I N	インバータ	30-IN	インバータ故障
J	連　　　動		
K	３　次　側	51KT	３次トランス過電流
L	負　　　荷	47HL	電灯 TrPF 断
	ラ　ン　プ	33WL	吸水井水位低下
	低	43DLR	受電現場機側切替器
	現場、ライン	33WL	吸水井水位低下
	下げ、レベル	35L	ブラシ引下げ
L A	避　雷　器	3-89LA	断路器操作ＳＷ
M	モ　ー　タ	48M	モータ起動渋滞
	指　示　計	43LM	水位計切替ＳＷ
N	中　　　性		
	負　　　極		
O	流　　　出	49-OVE	流出弁過負荷
	開		
P	ポ　ン　プ	$38H_2P_n$	ｎ号ポンプ温度上昇２段
	１　次　側	51P	トランス１次過電流
	正　　　極		
	圧　　　力		
	動　　　力（電力）	47HP	動力 TrPF 断
Q	油		
R	復　　　帰		
	上　　　げ	35R	ブラシ引上げ
	受　　　電	64R	受電過電圧接地
	遠　　　方		
S	２　次　側	27S	トランス２次低電圧
	吸　　　込	SV	吸込弁
S S	切 替 Ｓ Ｗ	３個以上の切替の場合に使用	
T	変　圧　器	26T	トランス過熱
	引 は ず し	52T	遮断器引はずし

	試　　験 タ　ン　ク	63AHT　空気タンク圧力上昇

符号	内　　容	例
T TH	リミトルク 温　　度	TIVE　電動流入弁トルク 30THP　ポンプ室温度上昇
U		
V	電　　圧 真　　空 弁	 BV　直送弁
W	水 流　　入	 43WM　流入計切替ＳＷ
X Y Z	補　　助 補　　助 補　　助 ブ　ザ　ー	 BZ

表－3

※　1　関電名称と併記する。
　　2　母連の場合基準（常用）より順位をつける。

解　説　編

種　別	基本番号		種　別	基本番号	
受変電操作電源 SW (共通)	8RC	□:1〜n	ﾊﾞﾙﾌﾞ、ﾓｰﾀ、操作 SW (各ポンプ)	1M□	□:1〜n
(受電1号)	8R1	8R□	(流入弁)	7-IVE□	
(受電2号)	8R2		(吐出弁)	7DVE□	
(Tr1号)	8T1	8T□	(送水弁)	7-OVE□	
(Tr2号)	8T2		(流入非常締切弁)	7EVI□	
(ﾌｨｰﾀﾞ1号)	8F1	8F□	(非常停止)	5EM□	(ﾎﾟﾝﾌﾟ)
(ﾌｨｰﾀﾞ2号)	8F2		(逆流防止弁)	7EOV□	
(ｺﾝﾃﾞﾝｻ1号)	8C1	8C□			
(ｺﾝﾃﾞﾝｻ2号)	8C2		操作場所切替 SW	43DL□	□:対象種別
(所内1号)	8H1	8H□		43LC□	D :機側
				43CR□	I :現場
警報、停止、復帰 LT (共通)	3-94RC	94 又は 86			C :中央
(受電1号)	3-94R1	3-94R□			R :遠方
(受電2号)	3-94R2				
(Tr1号)	3-94T1	3-94T□	切替 SW (水位計)	43LM△▽	△:I:流入
(Tr2号)	3-94T2		(受水圧力)	43PM△▽	O:流出
(ﾌｨｰﾀﾞ1号)	3-94F1	3-94F□	(送水圧力)		B:直送
(ﾌｨｰﾀﾞ2号)	3-94F2		(送水流量)	43WM△▽	▽:系統 1〜n
(ｺﾝﾃﾞﾝｻ1号)	3-94C1	3-94C□	吐出弁「試験」「単独」「連動」	43DVE□	□:1〜n
(ｺﾝﾃﾞﾝｻ2号)	3-94C2				
			充電器関係	43AH	
ポンプ操作電源 (共通)	8MC		商用―インバータ切替	43CI	
(各ポンプ)	8M□	□:1〜n	浮動―均等切替	43FE	
(所内)	8H□		交流入力過電流	51BC	
警報、停止、復帰 LT (ポンプ共通)	3-94MC	94 又は 86	受変電故障		
(各ポンプ)	3-94M□	□:1〜n	受電	△R□	□:1〜n
(所内)	3-94H□		受電母連	△RB□	△:51 過電流
(バルブ)	3-94V□		Tr1次	△P□	:51G 過電流接地
			Tr2次	△S□	:27 低電圧
断路器操作電源 SW (受電)	3-89R□	□:1〜n	Tr3次	△K□	:64 過電圧接地
(母連)	3-89RB□		フィーダ	△F□	:67 選択接地
(Tr1次)	3-89P□		母連、母線	△B□	:47PT ﾋｭｰｽﾞ断
(避雷器)	3-89L□		所内	△H□	:91 ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ超過
(所内 Tr1次)	3-89H△□	△:動力 P	コンデンサ	△C□	:59 過電圧
(ﾎﾟﾝﾌﾟ室引込)		:電灯 L			:92 扉開
					:119 火災
遮断器操作電源 SW (受電)	3-52R□	□:1〜n			:63A 空気圧
(受電母連)	3-52RB□	(特高)			
(Tr1次)	3-52P□				
(Tr2次)	3-52S□				
(Tr3次)	3-52K□				
(所内)	3-52H□				
(コンデンサ)	3-52C□				
(フィーダ)	3-52F□				
(母連)	3-52B□	(高圧)			

付属書 4

種　　別	基本番号		種　　別	基本番号	
変圧器故障			自動制御		
内部故障	96▽△T□	▽:H 又は L	送水自動異常	77AO□	□:1～n 系統
(△:1段のみのとき省略可)		△:1段又は 2 段	流入自動異常	77AI□	
		□:1～n			
			圧力		
過熱	26H△T□	△□:同上	圧力異常	68W▽△○□	▽:H 又は L
					△:1 段又は 2 段
所内 TrPF 断	47FH△□	△:L 電灯			○:I 流入
		φ 1・3W			:D ポンプ吐出
		:P 動力			:P 本管 1 次
		3 φ 3W			:O 送水
所内 Tr 扉開	92H△□	△:同上	水位	33W▽△□	▽:H 又は L
		□:1～n			△:1 段又は 2 段
					□:1～n
所内 Tr2 次 MOB 断	51H△□	△□:同上			
			バルブ		
コンプレッサー及び空気圧			リミトルク動作	T△VE□	△:I 流入
(補助タンク空気圧)	63A▽△○□	▽:H 又は L	過電流	49△VE□	:O 送水
(△:1段のみのとき省略可)		△:1 段又は 2 段	サイリスタ故障	71△VE□	:EI 流入非常締切
		○:R 受電			:EO 逆流防止
(主タンク空気圧)	63A▽△T○□	:PTr1 次			
		□:1～n			
コンプレッサー過電流	72CP○□	□:1～n			
ポンプ、モーター					
ポンプ過電流	51M□	□:1～n			
ポンプ地絡	50M□				
ポンプ選択地絡	67M□				
ポンプ無送水	69M□				
ポンプ起動渋滞	48M□				
ポンプ非常停止	5EM□				
ポンプ軸受温度上昇	38H△P□	△:1段又は 2 段			
ポンプ室温度上昇	30THP□				
ポンプ室火災	119P□				
監視室温度上昇	30THP□				
監視室火災	119P□				
モーター巻線温度上昇	26M□				
モーター軸受温度	38H△M□	△:1段又は 2 段			
モーター冷却水断	69CM□				
モータークーラー冷却水漏水	33CM□				
排水ポンプ異常	30BP□				
排水ポンプ主電源断	84BP□				
集水ピット水位	33▽△BP□	▽:H 又は L			
		△:1 段又は 2 段			

付属書　５　大阪府瑕疵担保期間設定基準

Ｈ１１．４．１改正

工　種	瑕疵担保期間	内　訳
鉄筋コンクリート造	２　年	橋梁（上下部）、立体交差、処理場・浄水場、ポンプ場、給水塔、受水槽、擁壁、杭工事等
その他大規模土木工事	２　年	ダム、トンネル、シールド等概ね１億８０００万円以上の土木工事
その他一般土木工事	１　年	道路築造、屋外整備工事等含む
舗装工事	１　年	
土木造成・埋立工事	１　年	
造園工事	１　年	造林、植栽、街路樹等
管布設工事	１　年	上下水道管渠工事
管体製作及び継手工事	１　年	上下水道管
制水弁･量水器等据付工事	１　年	開度計、開閉台、制水扉、流量計等
鉄骨・鋼構造物工事	２　年	橋梁（上下部）、横断歩道橋、鉄塔、水門鉄扉等
標識等設置工事	１　年	各種標識、ガードレール、区間線設置工事等
溜池築堤工事	２　年	
機械設備工事	２　年	機械設備等の製作据付工事
電気設備工事	２　年	電気設備等の製作据付工事
電気通信設備工事	１　年	放送設備、電話設備、電波障害対策設備
電気通信設備工事	２　年	無線設備
昇降設備工事	１　年	
屋内・外照明設備工事	１　年	
消防設備工事	１　年	
建築工事	２　年	ＲＣ造、Ｓ造、杭工事
建築工事	１　年	W造工事
建築設備工事	１　年	空調冷暖房、給排水衛生ガス等
建具工事	１　年	
防水工事	２　年	
塗装工事	１　年	
改修・補修工事	１　年	
撤去工事	１　年	
故意又は重過失	１０年	請負業者の故意又は重過失による瑕疵担保期間
権利の行使	６カ月	工事目的物に瑕疵があった場合の手直し請求期限

様式　2

主任技術者（監理技術者）現場代理人の予定者名簿

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　　様

所 在 地

請負者　　会 社 名　　　　　　　　　　印

代表者名

	氏　　　名	生年月日	区　分	資格内容	資格者番号	専任の有無

注：区分は監理技術者、主任技術者、及び現場代理人の別を記入

様式　3

現場代理人等通知書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

建設業許可番号	

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、現場代理人等を下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて契約書第１０条の規定により通知します。

記

工 事 名			
工　　期		主たる工事場所	

	氏　　名	生 年 月 日 入社年月日	資　　格	備　　考
現 場 代 理 人		——		
(　　) 主 任 技 術 者		——		
(　　) 監 理 技 術 者		——		
専 門 技 術 者		——		

注）１．該当する技術者のみ記入する。
２．建設業法第２６条第２項に該当する場合は、主任技術者でなく監理技術者とすること。
３．（　）の部分には、建設業法第26条第３項の工事の場合に『専任』の字句を記入する。
『ただし、当該工事が同法第26条第４項の工事にも該当する場合には、（　）の部分に監理技術者資格者証の交付を受けた専任』の字句を記入する。
４．専門技術者は、建設業法第２６条の２に規定する技術者をいう。

様式　4

現場代理人等変更通知書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　様

建設業許可番号	

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、現場代理人等を下記のとおり変更したので別紙経歴書を添えて契約書第１０条の規定により通知します。

記

工　事　名			
工　　期		主たる工事場所	

		氏　　名	生年月日 入社年月日	資格内容	資格者番号
現場代理人	旧				
	新				
（　　） 主任技術者	旧				
	新				
（　　） 監理技術者	旧				
	新				
専門技術者	旧				
	新				

注）１．監理技術者・主任技術者・現場代理人の変更するもののみ記入。
　　２．（　）の部分には、建設業法第26条第３項の工事の場合に『専任』の字句を記入する。
　　　ただし、当該工事が同法第26条第４項の工事にも該当する場合には、（　）の部分に『監理技術者資格者証の交付を受けた専任』の字句を記入する。

様式　5

下請指導責任者届

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

下記の者を下請指導責任者と定め、下請工事の管理指導をさせますから、経歴書を添えて、お届けします。

記

住　　　所	
氏　　　名	

様式　6

平成　　年　　月　　日

工事元請下請関係者一覧

工　事　名

<table>
<tr><td>番号
1</td><td colspan="3">請　負　者　　住所
（最先次元請）　氏名　　　　　　　　　　印</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>下請負工事種別</td><td>請負人の会社名又は請負人の氏名</td><td>直上の元請業者の番号</td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

様式　7

現　場　代　理　人
主　任　技　術　者
監　理　技　術　者
専　門　技　術　者
下請指導責任者

経　歴　書

氏名及び生年月日
住　　　　所
学　　　　歴
資　　　　格
職　　　　歴
工　事　経　歴

担当期間	発注者又は 注文者名	工　事　名	金　額 (単位) 千円	現場代理人等 の経歴
(建設業法第２６条による経歴年数)			年	

(注) 資格欄に記載した各資格については、それを証する書類の写しを添付すること。なお、監理技術者の場合は、監理技術者資格者証の写（表と裏）とする。

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

氏　　名　　　　　　　　　　　印

様式　8

着　工　届

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地
請負者　会社名　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり着工したので、お届けします。

記

工事名	
工事場所	
契約年月日	平成　　年　　月　　日
工期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
着工年月日	平成　　年　　月　　日

様式　9

下請負（委任）通知書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

所 在 地
請負者　　会 社 名　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、工事の一部を下記のとおり（請け負わせる、委任する）から契約書第７条の規定により通知します。

記

工　　事　　名	

下請負等に付する部分の概要及び予定工事量	下請負者の住所氏名、電話番号	建設業許可の内容（業種、番号、許可日）	下請負等に付する工事金額

（注）既に通知済のものについても記入し、下請負等に付する工事金額の合計を最下段に記入する。

様式　１０

工事外注計画書

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地

請負者　会社名　　　　印

代表者名

工事名

工期

請負代金額

外注予定工事

下請負等に付する部分の概要及び予定工事量	予定金額（千円）	備考
合計		

様式　１２

建退共掛金収納書届

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地

請負者　　会 社 名

代表者名　　　　　　　　　　　　　印

下記の工事の実施に必要となる建設業退職金掛金を納付しましたので、下欄に掛金収納書を貼付のうえお届けします。

記

1　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　工事請負金額　　　　　　　　　￥＿＿＿＿＿＿＿＿

3　今回建設業退職金掛金加入額　　￥＿＿＿＿＿＿＿＿

様式　１３

理　　由　　書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

住　　所
請負者　会 社 名
代表者名

下記の工事において、建設業退職金共済制度の対象となる作業員の雇用を予定しておりませんので、建退共掛金出納書を提出できないことをお届けします。

記

工　事　名	
工 事 場 所	
工　　期	平成　　年　　月　　日　　から 平成　　年　　月　　日　　まで
添 付 書 類	労務計画書 下請業者一覧表

様式　１３

労　務　計　画　書

【作成記入例】

工種	職種	平成8年	平成9年											平成10年		合計
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準備工	作業員			22	15												37
調査工	作業員			5	20									15			40
発進立坑築造工	作業員			30	8	60	80	183	169	122	139			211	342	362	1,706
泥水式推進工	作業員									120	250	250	250	250			1,120
薬液注入工	作業員								125	42	30						197
付帯工	作業員						25	340	8	37	108	144					662
合計				57	43	60	105	523	302	321	527	394	250	476	342	362	3,762
建退共対象外予定者				22	17	24	42	209	120	128	210	157	127	163	81	69	1.369
対象者累計				35	61	97	160	474	656	849	1,166	1,403	1,526	1,839	2,100	2,393	2.393
証紙購入計画				1,500								1,000					
証紙残数				1,465	1,439	1,403	1,340	1,026	844	651	334	1,097	974	661	400	197	

工事名	
工期	
請負業者名	

様式　１３

記入例

下請業者一覧表

平成　　年　　月　　日作成

No.	下請業者名	予定工事量(金額)千円	退職金制度			
			建退共	中退金	自社	その他
1	(株)○○建設	54,000	○			
2	(株)○○組	43,000		○		
3	(株)○○建材	32,000			○	
4	(株)○○商会	21,000	○	○		
5	(株)○○塗装店	10,000		○	○	
6	(株)○○製作所	9,000	○		○	
7	○○建設(株)	7,000	○	○	○	
8	○○重機(株)	5,000				○○制度
9	○○工業(株)	45,500			○	
10	○○興産(株)	34,500		○		
11	(有)○○	23,500				無し
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						

様式　１３

労　務　実　績　報　告　書

【作成記入例】

工　　　種	職種	平成8年	平　成　9　年												平成10年		合計
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準　備　工	作業員				34 25	57 42											91 67
調　査　工	作業員					6 3								15 5			21 8
発進立坑築造工	作業員					20 13	120 82	177 124	235 160	50 34				17 10	169 126	315 293	1,103 842
泥水式推進工	作業員										191 94	246 123	295 148	357 181	56 27		1,145 573
薬液注入工	作業員							110 78	128 51	189 76	225 90						652 295
付　帯　工	作業員				50 30	59 34	90 70	92 73		12 5	67 42	84 65	49 31	10 3			513 353
交通整理員	保安工					2 0	34 12	53 23	54 24	70 36	54 28	56 27	54 28	48 22	39 21	30 18	494 239
合　　　計					84 55	144 92	244 164	432 298	417 235	321 151	537 254	386 215	398 207	447 221	264 174	345 311	4,019 2.377
建退共対象外人員					29	52	80	134	182	170	283	171	191	226	90	34	1,642
対象者累計					55	147	311	609	844	995	1,249	1,464	1,671	1,892	2.066	2,377	2.377
証紙拒否者					0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	0	36
証紙配布枚数					55	92	152	298	235	139	254	215	195	221	174	311	2.341
証紙配布累計					55	147	299	597	832	971	1.225	1,440	1,635	1,856	2,030	2,341	2.341
証　紙　購　入					1,500								700			141	
証　紙　残　数					1,445	1,353	1,201	903	668	529	275	60	565	344	170	0	0

※　上段：作業員実績
　　下段：建退共対象人員実績（内数）

工事名	
工期	
請負業者名	
現場代理人	印

様式　１４

申　立　書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

住　　所
請負者　会 社 名
代表者名

下記の工事において、期間内に建退共掛金出納書届を提出ができませんのでよろしくお願いします。

記

工　事　名	
工 事 場 所	
工　　　期	平成　　年　　月　　日　　から 平成　　年　　月　　日　　まで
理　　　由	

様式　１５

労災保険成立証明書

労災保険成立記号番号　　第　　　　　号　（一括／単独）　有期事業

事業の名称

保険料算定期間（工　期）　自　平成　　年　　月　　日
至　平成　　年　　月　　日

上記工事について、大阪府水道企業管理者　　　　　　殿に着工届提出の際、あわせて労災保険成立済の事実について報告する必要がありますので御証明願います。

平成　　年　　月　　日

労働基準監督署長　様

請負者　所在地

会社名　　　　　　印

代表者名　　　　　印

様式　１５

労災保険成立証明願

労災保険成立記号番号	第	号	（一括／単独）	有期事業
事業の名称				
保険料算定期間（工　期）	自　平成　　年　　月　　日			
	至　平成　　年　　月　　日			

上記工事について、大阪府水道企業管理者　　　　　　殿に着工届提出の際、あわせて労災保険成立済の事実について報告する必要がありますので御証明願います。

平成　　年　　月　　日

労働基準監督署長　様

請負者　所在地

会社名　　　　　　　印

代表者名　　　　　　印

様式　１８

工 期 延 長 請 求 書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　様

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

契約書第２１条の規定により、下記のとおり工期延長を請求します。

記

工　事　名	
請 負 代 金 額	￥
工　　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
延 長 希 望 年 月 日	平成　　年　　月　　日　（　　　日間）
理　　由	別紙のとおり

（注）別紙理由は具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

様式　１９

完　成　通　知　書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　 様

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり工事を完成したので通知します。

記

工　事　名	
工 事 場 所	
請負代金額	￥
工　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
工事完了年月日	平成　　年　　月　　日

様式　２０

請　　求　　書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　様

債権者登録番号 | | | | | | |

（請負者）所　在　所
会　社　名
代 表 者 名　　　　　　　　　印

下記のとおり 前払金／完成払金／第　回部分払 請求します。

記

請　求　金　額	￥	支払方法 □ 口座振替 □ 隔地払 □ 部内払
請　求　内　容		
契　約　金　額		
完成払金・第　回部分払金　請求の内訳		
今回出来形割合	％	
部分払請求限度額	￥	
受領済前払金額	￥ （前払金請求の場合は記入の必要はありません）	
受領済前払金×出来形割合	￥	
受領済部分払金額	￥	
今回請求金額	￥ （部分払金請求の場合は千円未満切捨）	
残　額	￥	

※　前払金を請求していないときは、前払金の欄は０を記入のこと。

様式　２１

既 済 部 分 検 査 請 求 書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

所 在 地
請負者　　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、契約書第３７条第２項の規定により、平成　　年　　月　　日現在の出来高をもって第　　回既済部分検査を請求します。

記

工　事　名	
工 事 場 所	
請 負 代 金 額	￥
工　　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで

様式　２２

指定部分完成通知書

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地
請負者　会社名　　　　　　印
代表者名

下記のとおり指定部分について完成したので通知します。

記

工事名	
工事場所	
請負代金額	￥
指定部分の工期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
指定部分の完成年月日	平成　　年　　月　　日
指定部分の概要	

様式　２３

指定部分引渡書

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地
請負者　会社名　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付で請負契約を締結した　　　　　　　　　工事について は、指定部分の完成検査に合格しましたので引き渡します。

様式　２４

引　　　渡　　　書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

所 在 地
請負者　　　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した　　　　　　　　　　　　　工事に

ついては、完成検査に合格しましたので引き渡します。

様式　２５

所属長		物品出納員	

総括監督員	主任監督員	監　督　員

支 給 品 受 領 書

平成　　年　　月　　日

物 品 出 納 員　様

請負者住所氏名

（現場代理人）　　　　　　　　印

下 記 の 支 給 品 を 受 領 い た し ま し た 。

記

設 計 番 号		工　事　名	

資産番号	品　　名	形　状　寸　法	単位	数　量	備　　考

様式　２６

所属長		物品出納員	

総括監督員	主任監督員	監　督　員

支 給 品 戻 入 書

平成　　年　　月　　日

物 品 出 納 員　様

請負者住所氏名

（現場代理人）　　　　　　　　　印

下 記 の 支 給 品 を 返 納 い た し ま し た 。

記

設 計 番 号		工　事　名	

資産番号	品　　　名	形 状 寸 法	単位	数　量	備　　　考

注）太枠内は複写しないこと。

様式　２７

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　様

所 在 地
請負者　　会 社 名　　　　　　　　印
代表者名

損 害 発 生 通 知 書

１　工　　事　　名

２　工 事 場 所

３　請 負 代 金 額　　￥

４　契 約 年 月 日　　平成　　年　　月　　日

５　工　　　　期　　自　平成　　年　　月　　日

至　平成　　年　　月　　日

上記工事について、次のとおり損害を生じたので工事請負契約第２９条１項の規定に基づき通知します。

(1)　損害発生前及び損害の概要

(2)　損害の内訳数量

(3)　損害発生及び発生の現場写真

(4)　雨量、風速等の観測資料

様式　２８

総括監督員	主任監督員	監　督　員

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員 様

請 負 者 名

現場代理人　　　　　　　　　　　印

事 故 発 生 報 告 書

工　事　名

上記工事について、〔別紙〕事故報告書のとおり事故が発生しましたので報告します。

主任(監理)技術者

様式　２９

	主任監督員	監　督　員

施　工　計　画　書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　　　様

請 負 者 名

現場代理人　　　　　　　　　　印

工　事　名

上記の工事について別紙のとおり提出します。

（注）施工計画書の記入内容については事前に監督職員と協議すること。

主任(監理)技術者

	主任監督員	監　督　員

現場代理人	主任（監理）技術者

実　施　工　程　表

平成　　年　　月　　日

請負者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工　程	種　別	細　別	単　位　数　量	月	月	月	月	備　　考
				5　10　15　20　25	5　10　15　20　25	5　10　15　20　25	5　10　15　20　25	

（注）１．標題は、工事の場合は『工事』、調査作業、測量作業の場合は『作業』とそれぞれ記入すること。
２．作業の場合は、現場代理人の欄の記入は不要とする。

工　事　月　報

請負者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工 事 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

平成　　年　　月　　日

平成　年　　月	上半期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	下半期	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
気象状況	天　候																
	その他																
工程　工　種	種　別	日　作　業　状　況															
	記　事																
	作業員数																
	累計																

	主任監督員	監　督　員

	現場代理人

当月末出来高累計
%

様式　31

様式　３２

	主任監督員	監　督　員

現 場 発 生 品 調 書

平成　　年　　月　　日

監　督　職　員　様

請 負 者 名

現場代理人　　　　　　　　　　　印

平成　　年　　月　　日契約の　　　　　　　　　　工事における下記の発生品を納入します。

記

品　　　名	規　　　模	単位	数　量	発　生　工　種	摘　　　要

様式　３３

	主任監督員	監　督　員

材　料　確　認　書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　　様

請負者名
現 場 代 理 人　　　　　　　　印

工　事　名

標記工事について、下記の材料確認を請求します。

記

材　料　名	品質規格	単位	搬入数量	確　　認　　欄				備　考
				確認年月日	確認方法	合格数量	確認印	

主任(監理)技術者

様式　３４

中　間　検　査　請　求　書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
請負者　　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、記載理由により中間検査を請求します。

記

工　事　名	
工　　　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
検 査 希 望 日	平成　　年　　月　　日
検査対象及び理由	

様式　３５

中間（工場）検査請求書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地

請負者　　会 社 名　　　　　　　　　印

代表者名

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した下記工事について、工場検査をお願いします。

記

工　　事　　名	
工　事　場　所	
請　負　金　額	
工　　　　　期	平成　　年　　月　　日　から
	平成　　年　　月　　日　まで

１．検査対象名（仮組検査、材料検査、又は品名等）

２．検査場所

３．検査希望年月日　平成　　年　　月　　日

４．検査項目（項目別に列記、寸法検査、強度検査等）

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

５．検査の方法

（詳細を必要とするときは、別冊に検査要領書として添付すること。）

６．その他（別紙様式で添付）

(1) 担当者名及び工場所在地略図

(2) 検査日程予定表

様式　３５

（別　紙）

(1)　担当者名及び工場所在地略図

工　場　名

所　在　地

担当部課名

担当者氏名

電話番号

大阪から工場に至るまでの経路の概要
（大阪府下の場合は最寄り駅から）

工　場　所　在　地　略　図

N

(2)　検査日程予定表

様式　３６

段 階 確 認 書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　様

請 負 者 名

現 場 代 理 人　　　　　　　　印

下記のとおり段階確認を受けたいので報告致します。

主任(監理)技術者

記

１．工　　事　　名

２．確 認 種 別 、 細 別

３．確　　認　　箇　　所

４．確認希望、月、日時

５．そ　　の　　他

（注）　社内計測値を添付すること。

平成　　年　　月　　日

上記について、段階確認を実施し確認しました。

	主任監督員	監　督　員

様式　３８

	主任監督員	監　督　員

立　会　請　求　書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　様

請 負 者 名

現 場 代 理 人　　　　　　　　印

下記のとおり立会を請求します。

主任(監理)技術者

記

1．工　　事　　名

2．立　会　項　目

3．立　会　箇　所

4．立会希望、月、日時

5．そ　　の　　他

様式　３９

施工体系図（提示例）

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

総括監督員	主任監督員	監督員

発注者名	
工事名称	

工期	自　　年　　月　　日
	至　　年　　月　　日

元請名	
監督員名	
監理技術者名	
専門技術者名	
担当工事内容	
専門技術者名	
担当工事内容	

会長	統括安全衛生責任者

副会長	

元方安全衛生管理者

書記

現場代理人	監理技術者

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
工期	年　月　日～　年　月　日	

様式　39

総括監督員	主任監督員	監督員

現場代理人	監理技術者

施工体制台帳様式　（標準例）

年　月　日

施工体制台帳

〔会 社 名〕
〔事業所名〕

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可（更新）年月日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第　号	年　月　日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第　号	年　月　日

工事名称及び工事内容			
発注者名及び工事内容	〒		
工期	自　年　月　日 至　年　月　日	契約日	年　月　日

	区分	名称	住所
	元請契約		
	下請契約		

発注者の監督職員		権限及び意見申出	

監督職員名		権限及び意見申出方法	
現場代理人名		権限及び意見申出方法	
監理技術者名	専任 非専任	資格内容	
専門技術者名		専門技術者名	
資格内容		資格内容	
担当工事内容		担当工事内容	

《下請負人に関する事項》

会社名		代表者名	
住所 電話番号	〒 （☎　－　－　）		
工事名称及び工事内容			
工期	自　年　月　日 至　年　月　日	契約日	年　月　日

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可（更新）年月日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第　号	年　月　日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第　号	年　月　日

現場代理人名	
権限及び意見申出方法	
※主任技術者名	専任 非専任
資格内容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
※専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

※〔主任技術者、専門技術者の記入要領〕
1　主任技術者の配属状況について〔専任・非専任〕のいずれかに○印を付すること。
2　専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。（一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。）複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
3　主任技術者の資格内容（該当する物を選んで記入する）
①経験年数による場合
1）大学卒〔指定学科〕　3年以上の実務経験
2）高校卒〔指定学科〕　5年以上の実務経験
3）その他　10年以上の実務経験
②資格等による場合
1）建設業法「技術検定」
2）建築士法「建築士試験」
3）技術士法「技術士試験」
4）電気工事士法「電気工事士試験」
5）電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
6）消防法「消防設備士試験」
7）職業能力開発促進法「技能検定」

（記入要領）
1　この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書を添付することにより、一次下請負業者別の施工体制台帳として利用する。
2　上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
3　監理技術者の配属状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること
4　専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。（監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。）
5　監理技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。①資格を証するものの写し②自社従業員である証明書類の写し（従業員証、健康保険証など）

様式　４０

承　　諾　　書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　様

請 負 者 名

現 場 代 理 人　　　　　　　　印

下記の通り　　　　　　　　　　　したいので検討の上承諾ください。

主任(監理)技術者

記

１．工　　事　　名

２．件　　　　　名

３．記　　　　　事

上記の件承諾する。

平成　　年　　月　　日

総括監督員	主任監督員	監　督　員

様式　４１

工 事 写 真 帳

<table>
<tr><td colspan="5">平成　　年度　　　○　○　○　○　工事写真　　　○　／　○　冊</td></tr>
<tr><td colspan="5">大阪府　○　○　○　事務所</td></tr>
<tr><td>総括監督員</td><td>主任監督員</td><td>監　督　員</td><td>現場代理人</td><td>主任(監理)技術者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">工　期　　　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>工事種別</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>請　負　者</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（注）　１．標題には施工年度、工事名を記入し　１／３冊　２／３冊………と番号を付す。

２．工事種別欄にはアルバムに集録した写真の工種内容を書き表す。

様式４３

	主任監督員	監　督　員

決　定　図　書

平成　　年　　月　　日

監　督　職　員　様

請 負 者 名

現場代理人　　　　　　　　　　　　印

記

１．工　　事　　名

２．件　　　　　名

３．記　　　　　事

規程様式第１号（第５条関係）

行政財産使用許可申請書

平成　　年　　月　　日

様

申請者　住所

氏名　　　　　　　　　印

下記のとおり、大阪府水道部の行政財産を使用したいので許可されるよう申請します。

記

1　使用する　　名　称
　 物　　件　　所在地
　　　　　　　 使用部分
　　　　　　　 使用面積

2　使用目的

3　使用方法

4　使用期間　　平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日まで

5　連絡先

6　添付書類

様式　４５

工事用電力（用水）使用許可申請書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
請負者　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり工事用電力（用水）を使用したいので「大阪府水道部　電気機械設備共通仕様書」１．２．１９の規定により許可を受けたく申請します。

記

工　事　名　称	
工　事　場　所	
契 約 年 月 日	平成　　年　　月　　日
工　　　　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
着　　工　　日	平成　　年　　月　　日
現 場 代 理 人	
入場作業期間	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで

様式　４７

	主任監督員	監　督　員

時間外・休日作業許可申請書

平成　　年　　月　　日

監 督 職 員　様

請 負 者 名
現場代理人　　　　　　　　印

下記のとおり　　　　　作業を行いたいので「大阪府水道部　電気機械共通仕様書」１．２．１６の規定により許可を受けたく申請します。

記

工　　事　　名	
工 事 現 場	

作　　業　　日	平成　　年　　月　　日
作 業 時 間	～
作 業 内 容	

様式　４８

	主任監督員	監　督　員

Ｎｏ．

平成　　年　　月　　日

材料等搬出確認願及び記録

監　督　職　員　様

請　負　者　名
現　場　代　理　人　　　　　　　　　印

下記材料の搬出確認をお願いします。

搬出日　平成　　年　　月　　日

工事名

品　　　名	規　　　格	単位	搬　出　数　量				備　　考
			受　検				

検　　査　　日	平成　　年　　月　　日
検　　査　　員	
検　査　結　果	
指　示　事　項	

主任(監理)技術者

様式　50

	主任監督員	監督員

塗装膜厚測定記録

工事名		測定年月日	
測定時点		測定者	
対象部材			

現場代理人	主任(監理)技術者

測定位置	1	2	3	4	5	計	5点の平均 Xi	$\bar{X}-X_i$	$(\bar{X}-X_i)^2$
1.									
2.									
3.									
4.									
5.									
6.									
7.									
8.									
9.									
10.									
11.									
12.									
13.									
14.									
15.									
16.									
17.									
18.									
19.									
20.									
合計									

平均値 $\bar{X} = \frac{1}{N}\sum_{i=1}^{N} X_i =$ 　　　μm

標準偏差 $S = \sqrt{\frac{1}{N-1}\sum_{i=1}^{N}(\bar{X}-X_i)^2} =$ 　　　μm

判定

標準偏差S	＜	目標塗装膜厚×0.2
平均値 $\bar{X}$	＞	目標塗装膜厚×0.9
5点平均Xiの最小値	＞	目標塗装膜厚×0.7

※　簡易な塗装（盤、電線管等）は、測定位置が全て、目標塗装膜厚以上であればよい。

様式　５４

	主任監督員	監　督　員

社内検査記録届

平成　　年　　月　　日

監督職員　　様

請負者名

現場代理人　　　　　　　　　　印

標記について下記により検査を行ったので報告します。

１．工　事　名

２．工　　　期

３．検 査 員 名

４．検査年月日　　平成　　年　　月　　日

５．検査対象及び項目

６．検 査 所 見

主任(監理)技術者

様式　５５

かし修補誓約書

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地

請負者　　会社名　　　　　　　　　印

代表者名

工事名

工事場所

期間　　平成　　年　　月　　日

平成　　年　　月　　日に引き渡しをした上記工事目的物のかしにつきましては、別紙施工計画に基づき、上記期限内にかし修補請求書のとおり修補を完了することを誓約いたします。

様式　５６

かし修補完了届

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地

請負者　会社名　　　　　　　　印

代表者名

下記の通り完了しましたので届けます。

記

工事名	
工事場所	
完了年月日	平成　　年　　月　　日

平成　　年　　月　　日

上記工事目的物のかしの修補が完了したことを確認しました。

印

様式　101

着　手　届

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
受注者　会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり着工したので、お届けします。

記

委　託　名	
委 託 場 所	
契 約 年 月 日	平成　　年　　月　　日
工　　　期	平成　　年　　月　　日から 平成　　年　　月　　日まで
着 手 年 月 日	平成　　年　　月　　日

様式　102

管理技術者通知書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
受注者　会 社 名　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けをもって業務委託契約を締結した下記業務委託の管理技術者を定めたので通知します。

記

委　託　名	
工　　　期	平成　　年　　月　　日から 平成　　年　　月　　日まで
委 託 場 所	

	氏　　　名	生 年 月 日	資 格 内 容	資 格 番 号
管理技術者				

(注)経歴書を添付すること。

様式　103

管理技術者経歴書

氏名及び生年月日

現　　住　　所

学　　　　　歴

職　　　　　歴

担当期間	発注者又は 注文者名	委　託　名	金額 (単位) 千円	管理技術者 の経歴
(経歴年数)			年	

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

氏　名　　　　　　　　　　印

様式　104

管理技術者変更通知書

平成　　年　　月　　日

契約者名　様

所在地
受注者　会社名　　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けをもって業務委託契約を締結した下記業務委託の管理技術者を変更したので通知します。

記

委託名	
工期	平成　　年　　月　　日から 平成　　年　　月　　日まで
委託場所	

		氏名	生年月日	資格内容	資格番号
管理技術者	新				
	旧				

(注)経歴書を添付すること。

様式　105

照査技術者通知書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
受注者　会 社 名　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けをもって業務委託契約を締結した下記業務委託の照査技術者を定めたので通知します。

記

委　託　名	
工　　　期	平成　　年　　月　　日から 平成　　年　　月　　日まで
委託場所	

	氏　　　名	生年月日	資格内容	資格番号
照査技術者				

(注)経歴書を添付すること。

照査技術者経歴書

氏名及び生年月日

現　　住　　所

学　　　　　歴

職　　　　　歴

担当期間	発注者又は 注文者名	委　　託　　名	金額 (単位) 千円	照査技術者 の経歴
(経歴年数)			年	

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

氏　名　　　　　　　　　　印

様式　107

照査技術者変更通知書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
受注者　会 社 名　　　　　　　　　印
代表者名

平成　　年　　月　　日付けをもって業務委託契約を締結した下記業務委託の照査技術者を変更したので通知します。

記

委　託　名	
工　　　期	平成　　年　　月　　日から 平成　　年　　月　　日まで
委託場所	

		氏　　名	生　年　月　日	資　格　内　容	資　格　番　号
照査技術者	新				
	旧				

(注)経歴書を添付すること。

様式　108

委任（下請負）承諾申請書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

住　　所
受注者　　会　社　名
代 表 者 名　　　　　　　　印

平成　　年　　月　　日付けで委託契約を締結した下記業務委託について、業務の一部分を、下記により（　委任したい・請負わせたい　）ので、契約書第7条により、承諾を申請します。

記

1.　委託業務名

2.　委託等に付する（　工種・業務　）及び予定業務量

3.　委託等に付する（　工種・業務　）の履行期間

4.　委任者の住所、氏名

5.　委託等に付する理由

委任(下請負)通知書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

住　　所
受注者　　会　社　名
代 表 者 名　　　　　　　　印

平成　　年　　月　　日付けで委託契約を締結した下記業務委託について、業務の一部分を、下記により(　委任する・請負わせる　)ので、契約書第7条により、通知します。

記

1.　委託業務名

2.　委託等に付する部分の概要及び予定数量

3.　委託者の住所、氏名

4.　担当責任者の氏名

5.　委託等に付する理由

様式　111

労災保険成立証明書

労災保険成立記号番号　　　　第　　　　　号　（一括／単独）　有期事業

事業の名称

保険料算定期間（工　期）　　自　平　成　　年　　月　　日
　　　　　　　　　　　　　　至　平　成　　年　　月　　日

上記工事について、大阪府水道企業管理者　　　　　　　　殿に着工届提出の際、あわせて労災保険成立済の事実について報告する必要がありますので御証明願います。

平　成　　年　　月　　日

労働基準監督署長　様

受　注　者　　所 在 地

会 社 名　　　　　　　　　　　印

代表者名　　　　　　　　　　　印

様式　111

労災保険成立証明願

労災保険成立記号番号　　第　　　号　（一括／単独）有期事業

事業の名称

保険料算定期間（工　期）　自　平成　　年　　月　　日
　　　　　　　　　　　　　至　平成　　年　　月　　日

上記工事について、大阪府水道企業管理者　　　　　殿に着工届提出の際、あわせて労災保険成立済の事実について報告する必要がありますので御証明願います。

平成　　年　　月　　日

労働基準監督署長　様

受注者　所在地

会社名　　　　　　印

代表者名　　　　　印

様式　112

履行期間延期請求書

平成　　年　　月　　日

契約者名　　様

所在地
受注者　会社名　　　　　　　　印
代表者名

別記理由により下記のとおり工期延長を請求します。

記

委託名	
請負金額	¥
履行期間	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
延長希望年月日	平成　　年　　月　　日　（　　　日間）

理　　由　別紙のとおり
平成　　年　　月　　日

（注）別紙理由は具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

様式　113

完　了　通　知　書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

所 在 地
受注者　会 社 名　　　　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり完了したので通知します。

記

委　　託　　名	
委　託　場　所	
契　約　金　額	¥
工　　　　　期	平成　　年　　月　　日　から 平成　　年　　月　　日　まで
委託完了年月日	平成　　年　　月　　日

様式　114

成 果 品 引 渡 書

平成　　年　　月　　日

契 約 者 名　　様

所 在 地
受注者 会 社 名　　　　　　　　　　印
代表者名

下記のとおり、業務委託が完了し検査に合格しましたので、成果品を引渡します。

記

委　　託　　名	

成 果 品 の 内 訳

成 果 品 の 種 類	数　量	備　　　　　　考

注）　成果品が多種にわたる場合は別紙に記載して本紙と割印の上提出のこと。

様式　115

請　求　書

平成　　年　　月　　日

契　約　者　名　　様

債権者登録番号 | | | | | | |

所　在　所
会　社　名
代　表　者　名　　　　　　　　　　　印

下記のとおり請求します。

記

請　求　金　額		¥	支払方法 □　口座振替 □　隔地払 □　部分払
請　求　内　容		完成払金	
内訳	契　約　金　額		
	前　払　金　額		
	既受領済 部分払金額	¥	
	今回請求金額 （残額）	¥	

※　前払金を請求していないときは、前払金の欄は０を記入のこと。

様式　116

業 務 計 画 書

平成　　年　　月　　日

監督職員　様

受注者名称
管理技術者氏名　　　　　　　　　　印

委　託　名

上記の委託について別紙のとおり提出します。

（注）　業務計画書の記入内容については事前に監督職員と協議すること。

業務委託月報

工期　平成　　年　　月　　日から
　　　平成　　年　　月　　日まで

平成　年　月		上半期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	—
		下半期	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
気象状況		天候																
		その他																
工程	業務	種別	日作業状況															
監督職員	管理技術者																	

様式　118

業務委託打合せ簿

<table>
<tr><td>第　　回</td><td colspan="5"></td><td>追　番</td><td>－</td><td colspan="2">頁</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発注者･印</td><td></td><td></td><td></td><td>担当者</td><td rowspan="2">受注者･印</td><td></td><td>管理技術者</td><td colspan="2">担　当　者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業所名</td><td colspan="4"></td><td>受注者名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>件　　名</td><td colspan="5"></td><td>整理番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td></td><td>発注者</td><td colspan="4"></td><td>日　　時</td><td colspan="3">平成　　年　　月　　日(　)</td></tr>
<tr><td>出 席 者</td><td colspan="5"></td><td>場　　所</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td></td><td>受注者</td><td colspan="4"></td><td>打合方式</td><td colspan="3">会議・電話</td></tr>
<tr><td colspan="10"></td></tr>
</table>

様式　119

承　諾　書

平成　　年　　月　　日

監督職員　様

受注者名
管理技術者　　　　　　　　　　　　印

下記のとおり　　　　　　　　　　したいので検討の上承諾願います。

記

1　委　託　名

2　件　　　名

3　記　　　事

上記の件承諾する。
平成　　年　　月　　日

様式　120

所属長		物品出納員		監督職員	

支 給 品 受 領 書

平成　　年　　月　　日

物 品 出 納 員　様

受注者住所氏名

（管理技術者）　　　　　　　　　　　印

下 記 の 支 給 品 を 受 領 い た し ま し た 。

記

設 計 番 号		工　事　名	

資産番号	品　　　名	形 状 寸 法	単位	数　量	備　　　考

様式　121

所属長		物品出納員		監督職員	

支 給 品 戻 入 書

平成　　年　　月　　日

物 品 出 納 員　様

受注者住所氏名

（管理技術者）　　　　　　　　　　　　　　印

下 記 の 支 給 品 を 返 納 い た し ま し た 。

記

設 計 番 号		工　事　名	

資産番号	品　　　名	形　状　寸　法	単位	数　量	備　　　考

注）太枠内は複写しないこと。